


留学生に関する調査 結果詳細



基本情報(性別／国籍／学校種別)

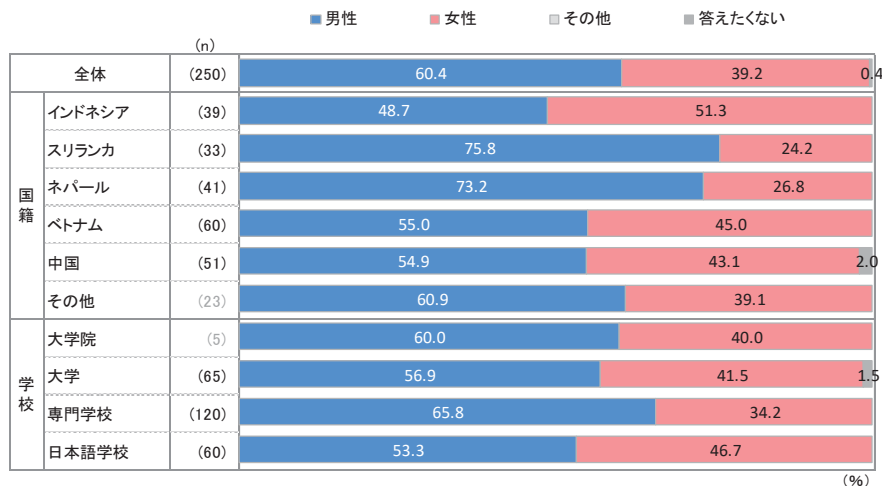
■ 性別／国籍

- 男女比はほぼ6:4。国籍は「ベトナム」が24%で最多。次いで「中国」が20%、「ネパール」「インドネシア」が各16%。

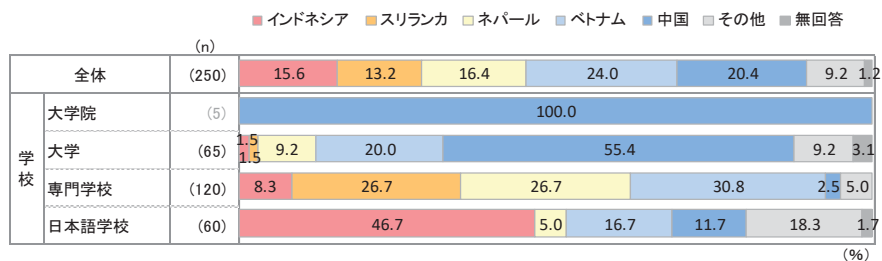
■ 通っている学校の種類

- 全体では「専門学校」が48%で最多。以下、「大学」が26%、「日本語学校」が24%と続く。
 - 国籍別にみると、インドネシアでは「日本語学校」、スリランカ、ネパール、ベトナムでは「専門学校」、中国では「大学」が大半を占めており、国籍によって内訳が大きく異なる。

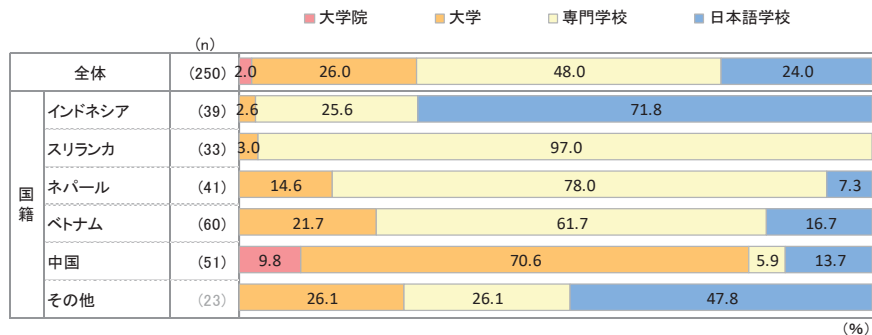
Q1-1. あなたの性別をお答えください。(SA)



Q2. あなたの国籍をお答えください。(SA)



Q3. あなたの通っている学校の種類をお答えください。(SA)

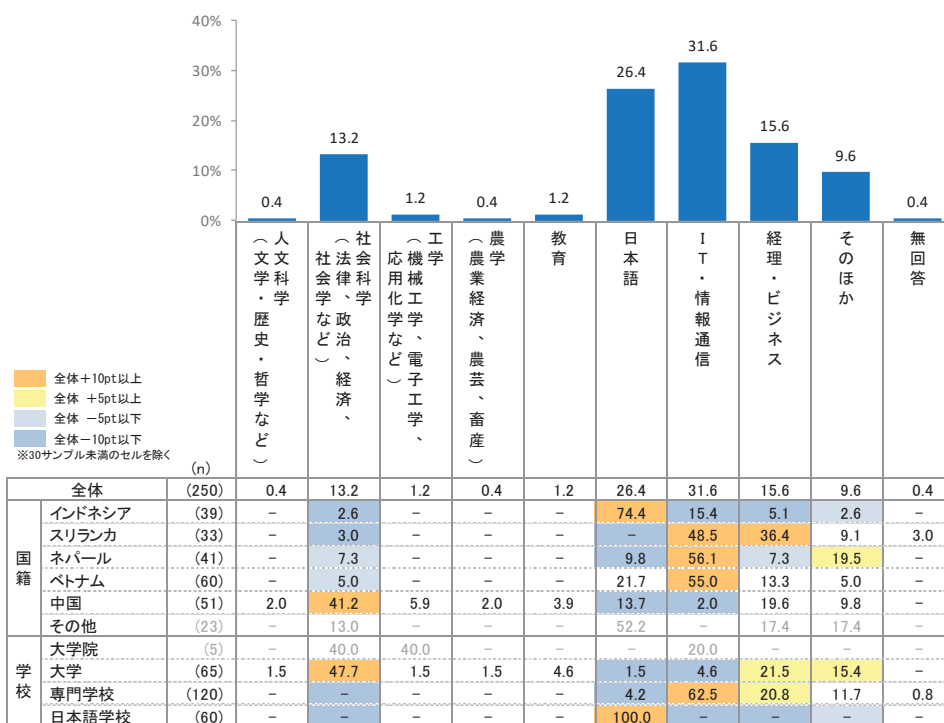


基本情報(学んでいる分野)

■ 学んでいる分野

- 全体では「IT・情報通信」が32%と最も高く、「日本語」が26%で続く。以下、「経理・ビジネス」(16%)、「社会科学」(13%)など。
- 学校種類別にみると、大学では、法律・政治・経済・社会学などの「社会科学」を学んでいる留学生在が約半数(48%)、次に「経理・ビジネス」(22%)が続く。専門学校では、「IT・情報関連」が6割を超え(63%)、「経理・ビジネス」(21%)がそれに続く。日本語学校では全員「日本語」を学んでいる。

Q4. あなたの学んでいる分野をお答えください。(SA)



学校生活・日本語学習の状況(学校に対する満足度)

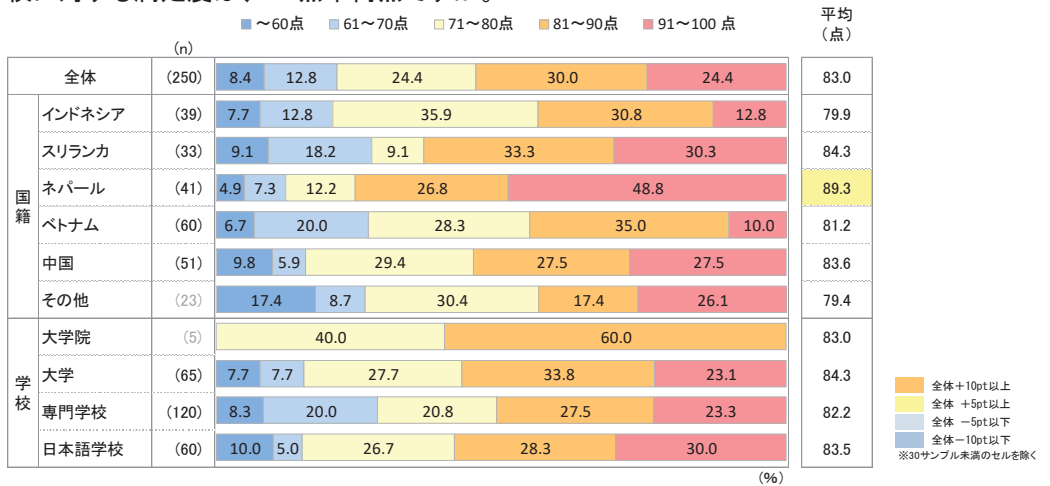
■ 学校に対する満足度

- 全体では「81～90点」(30%)が最も多く、「91～100点」「71～80点」が各2割台で続く。平均は83点。
 - 平均点は各国、学校種類別ともに80～90点程度。

■ 在籍校の満足点／不満点

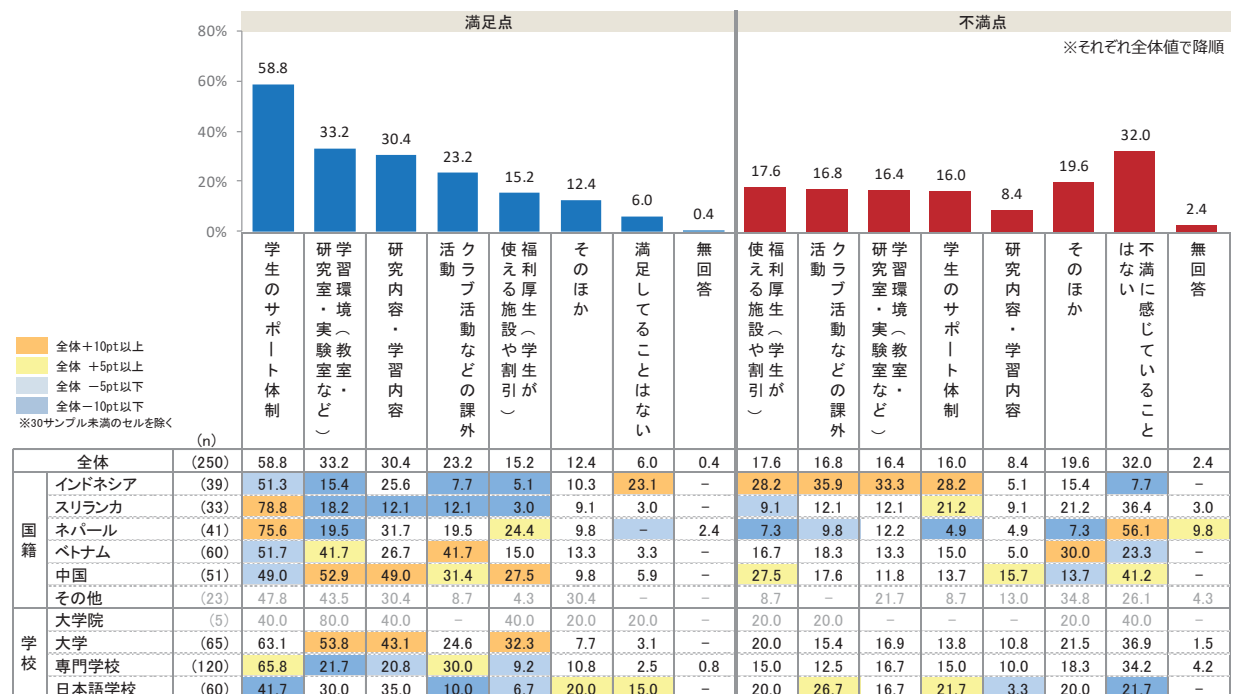
- 満足点は、全体では「学生のサポート体制」が59%と最も高い。
 - 学校種類別にみると、大学では「学生のサポート体制」(63%)に次いで、「学習環境」(54%)、「研究内容・学習内容」(43%)、「福利厚生」(32%)に満足している人が他の学校に比べて多い。
 - 専門学校では、「学生のサポート体制」(66%)に次いで、「クラブ活動などの課外活動」(30%)が比較的高いのが特徴的である。
- 不満点をみると、全体では「福利厚生」「課外活動」「学習環境」「学生のサポート体制」が各1割強。
 - 特に日本語学校では、「課外活動」(27%)「サポート体制」(22%)に関して、平均よりも高い不満率を示している。

Q5. あなたの学校に対する満足度は、100点中何点ですか。



Q6. あなたの在籍する学校の満足しているところを、次の項目から選んでください。(MA)

Q7. あなたの在籍する学校的不满に感じているところを、次の項目から選んでください。(MA)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

学校生活・日本語学習の状況(日本語能力について)

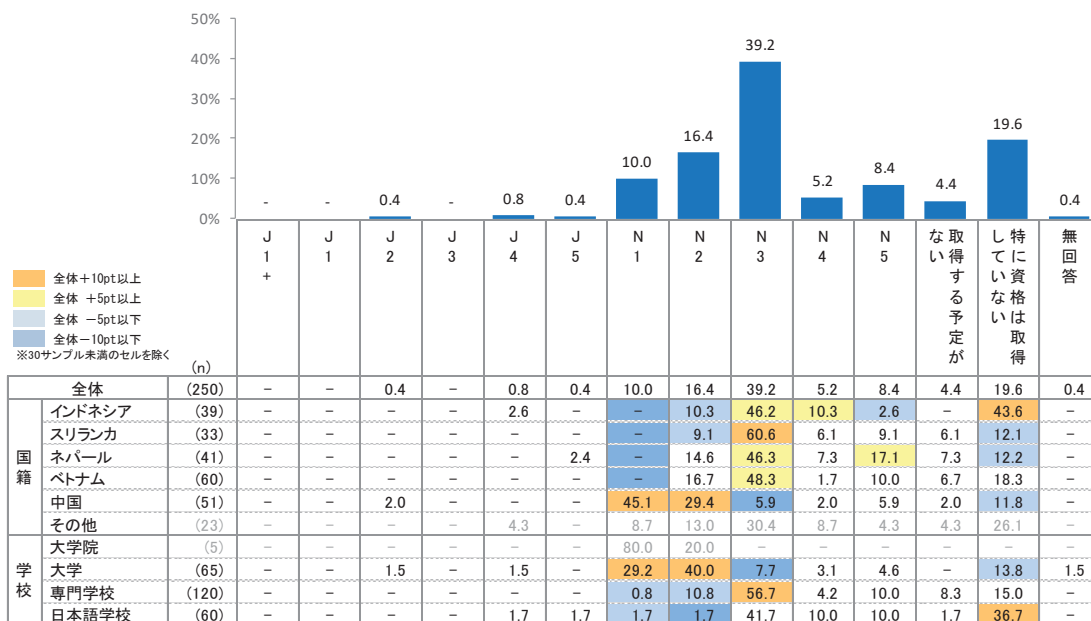
■ 日本語能力資格の取得状況

- 資格を取得しているのは全体の8割。最も多いのは「N3」で39%。次いで「N2」が16%。
 - スリランカで「N3」が6割と特に高い。中国では「N1」の取得者が4割を超え、他国と比べて突出している。
 - 学校別にみると、大学では「N1」「N2」、専門学校、日本語学校では「N3」の取得率が高い。

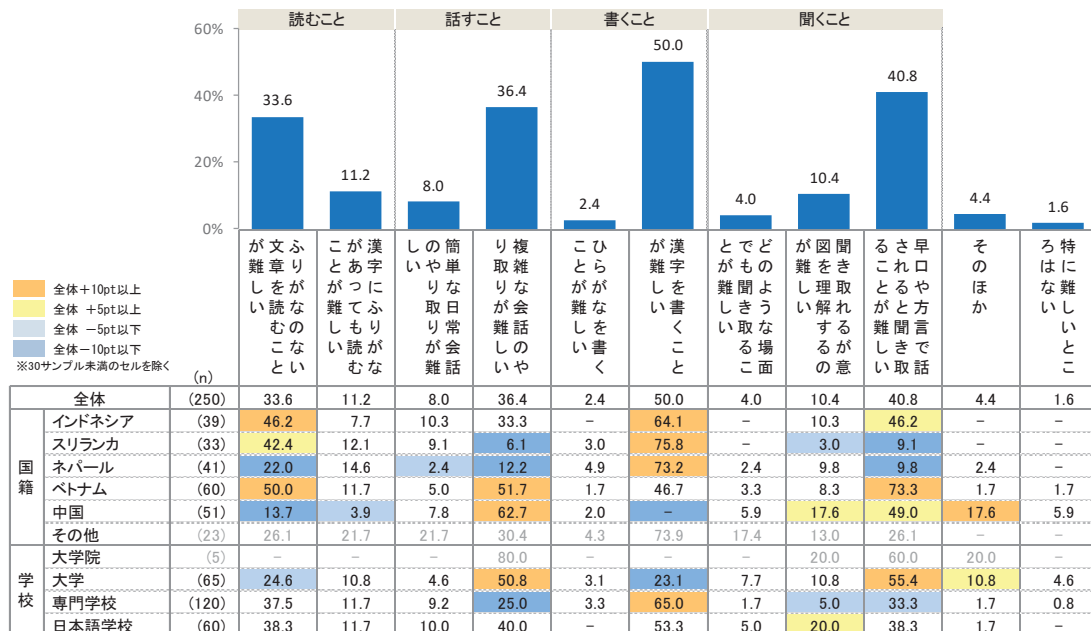
■ 日本語で難しい点

- 全体では「漢字を書くこと」が50%で最多。次いで「早口や方言の聞き取り」が41%。
 - 国籍別にみると、ベトナムでは「早口や方言の聞き取り」、中国では「複雑な会話のやり取り」が最多。
 - 学校別にみると、大学では「早口や方言の聞き取り」「複雑な会話のやり取り」、専門学校、日本語学校では「漢字を書くこと」が5~6割台と高い。

Q8. 現在、あなたは、日本語能力の資格を取得していますか。(MA)



Q9. 日本語を使う上で難しい点をお答えください。(MA)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

学校生活・日本語学習の状況(奨学金の受給状況)

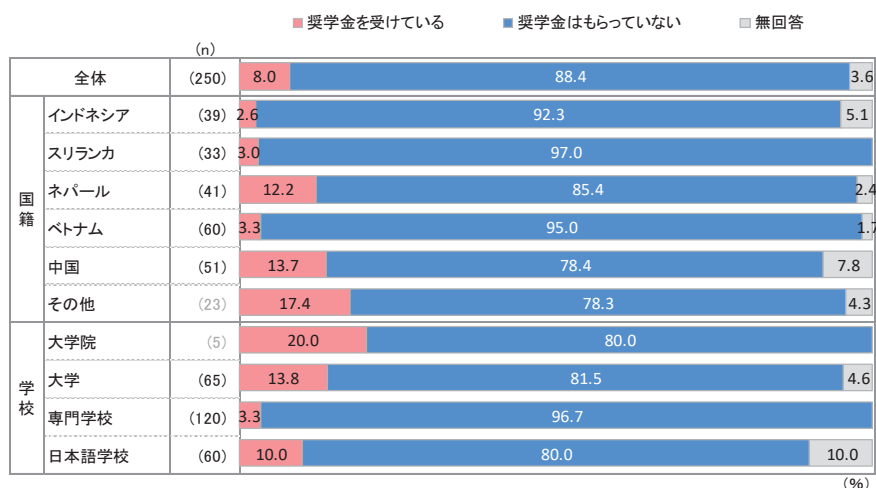
■ 奨学金の受給状況

- 奨学金を受けているのは全体の8%。
 - 国籍別に「受けている」の割合をみると、中国、ネパールで各1割強と高め。
 - 学校別にみると、専門学校では「受けている」が3%にとどまる。

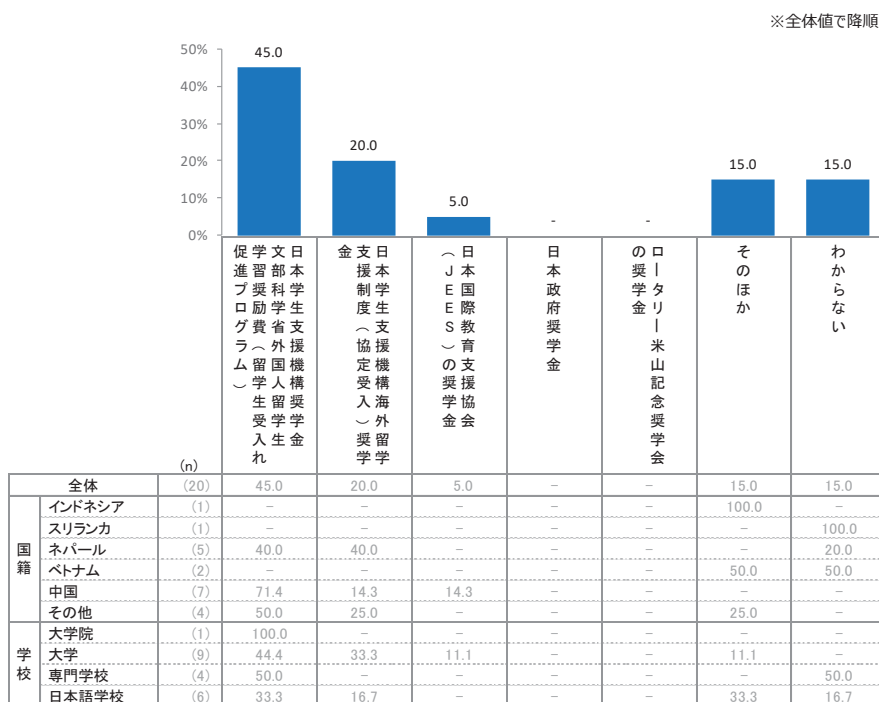
■ 奨学金の種類

- 小サンプルのため参考値だが、「文部科学省外国人留学生学習奨励費(留学生受入れ促進プログラム)」(45%)が最も多い。

Q10-1. あなたは奨学金を受けていますか。(SA)



Q10-2. 奨学金の内容をお答えください。 <「奨学金を受けている」と回答した者>



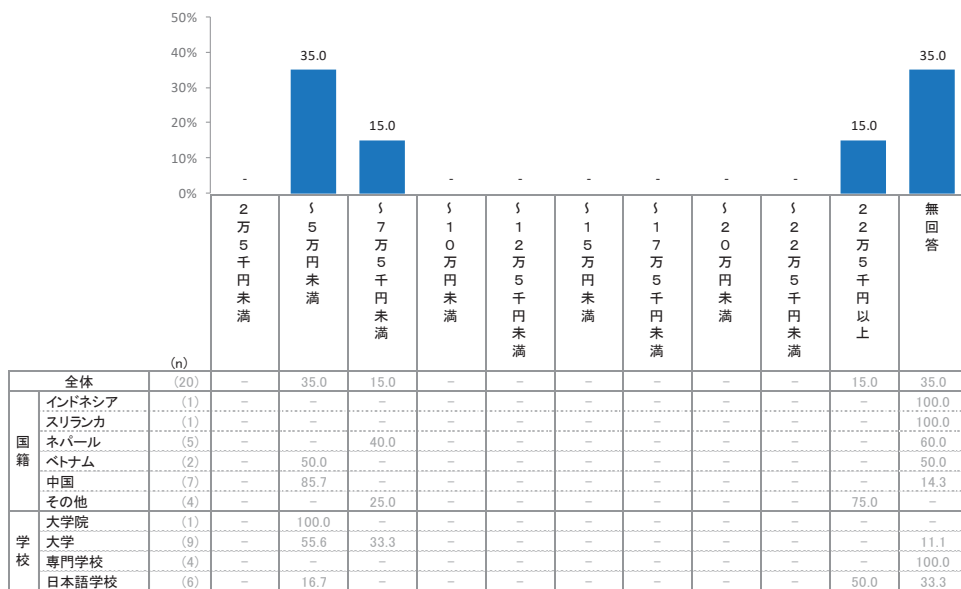
※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

学校生活・日本語学習の状況(奨学金の受給状況)

■ 奨励額(月額)

- 小サンプルのため参考値だが、「2万5千円～5万円未満」が35%で最多。次いで「5万円～7万5千円未満」「22万5千円以上」が各15%。

Q10-3. 奨励額(月額)をお答えください。<「奨学金を受けている」と回答した者>



日本の生活と暮らしについて(日本人との交流状況)

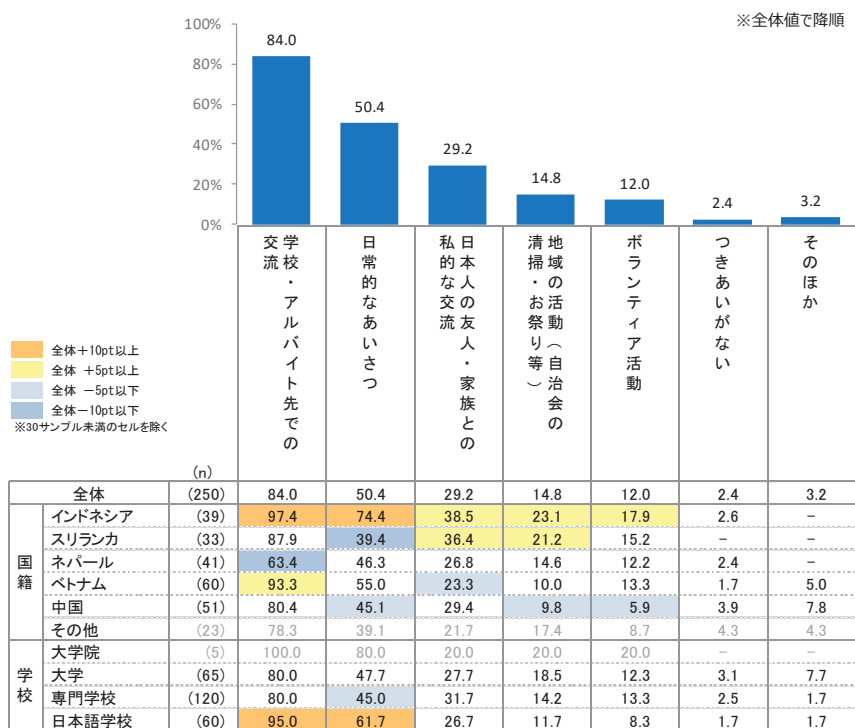
■ 日本人との交流状況

- ・ 全体では「学校・アルバイト先での交流」が84%で最多。次いで「日常的なあいさつ」が50%。
 - 国籍別にみると、インドネシアで「学校・アルバイト先での交流」「日常的なあいさつ」が特に高い。
 - ネパールでは「学校・アルバイト先での交流」が6割台にとどまり、他国の割合を10ポイント以上下回る。

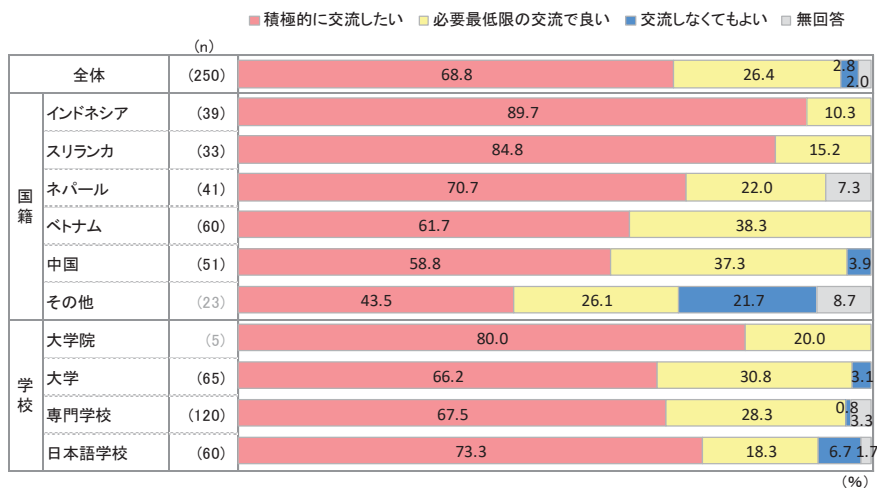
■ 日本人との交流への態度

- ・ 全体では「積極的に交流したい」が69%を占める。
 - 国籍別にみると、インドネシア、スリランカで「積極的に交流したい」が8割以上と特に高い。
 - 他方、ベトナム、中国では「必要最低限の交流で良い」が3割を超え、他国を10ポイント以上上回る。

Q11. あなたは普段、日本人とどのような交流をしていますか。(MA)



Q12. あなたは日本人とどの程度交流したいですか。(SA)



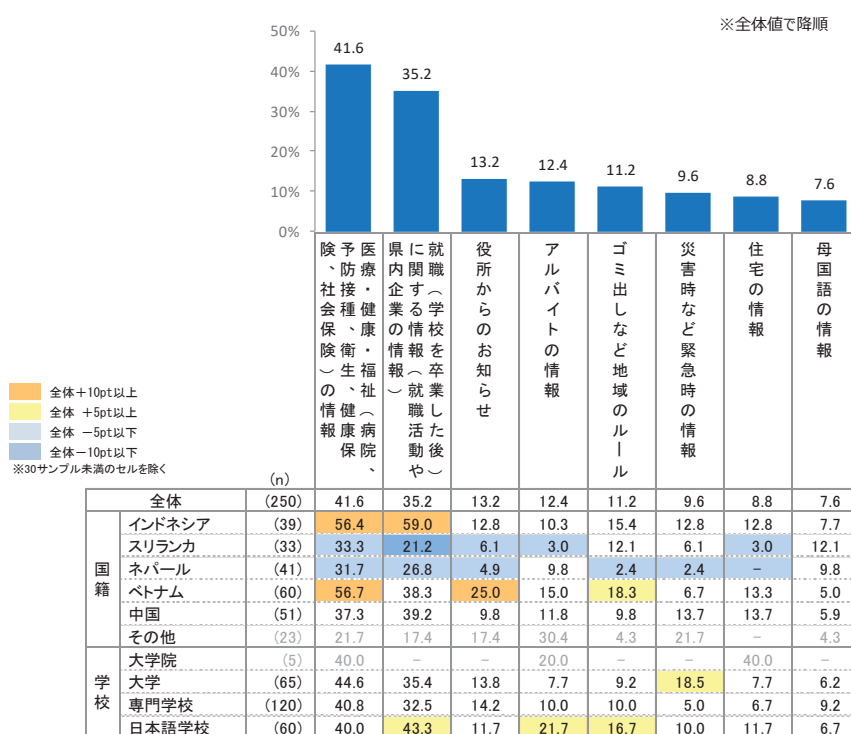
※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

日本の生活と暮らしについて(手に入らない情報)

■ 手に入らず困っている情報

- 全体では「医療・健康・福祉の情報」(42%)、「就職に関する情報」(35%)が上位。
 - 国籍別にみると、インドネシア、ベトナムでは「医療・健康・福祉」が5割を超え、特に高い。インドネシアでは「就職に関する情報」も59%があげており、他国を大きく上回る。
 - ベトナムでは「役所からのお知らせ」が25%と、他国に比べて高め。
 - 学校別にみると、大学、専門学校では「医療・健康・福祉の情報」、日本語学校では「就職に関する情報」が最多。日本語学校では「アルバイトの情報」(22%)も大学、専門(各8%、10%)に比べて高い。

Q13. 日本で生活する上で、手に入らなくて困っている情報はありますか。(MA)



日本の生活と暮らしについて(苦情を受けた経験について)

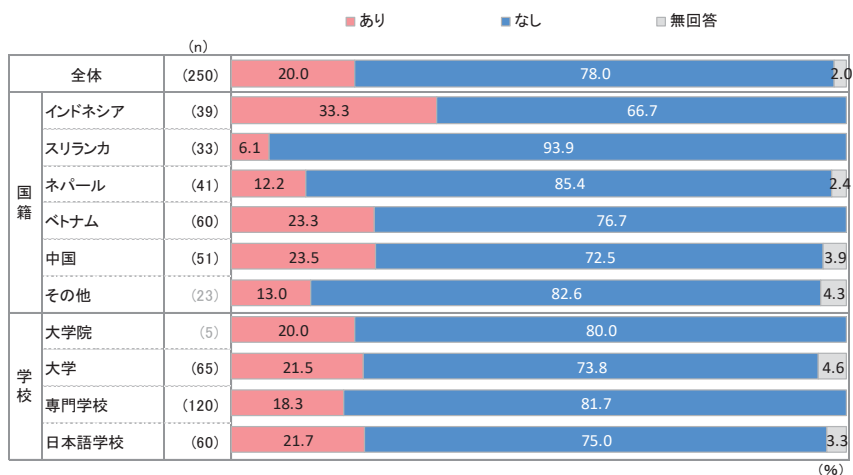
■ 住民・大家から苦情を受けた経験

- ・ 全体では経験者が20%。

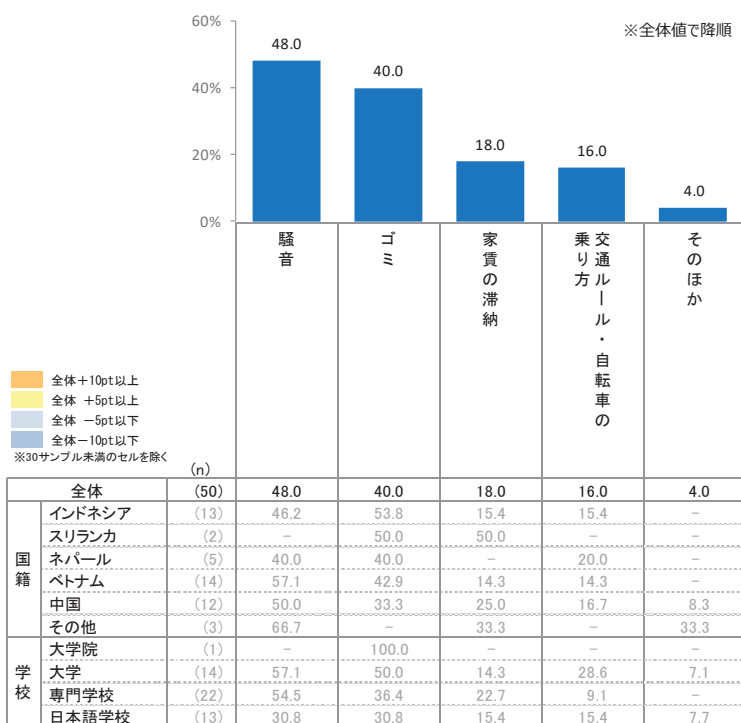
■ 受けた苦情の内容

- ・ 経験者が受けた苦情の内容では、「騒音」(48%)、次いで「ゴミ」(40%)が多い。

Q14-1. 住民や大家などから苦情を言われた経験がありますか。(SA)



Q14-2.それはどのような内容でしたか。(MA) <苦情を言われた経験「あり」と回答した者>



日本の生活と暮らしについて(困っている・受け入れられないこと)

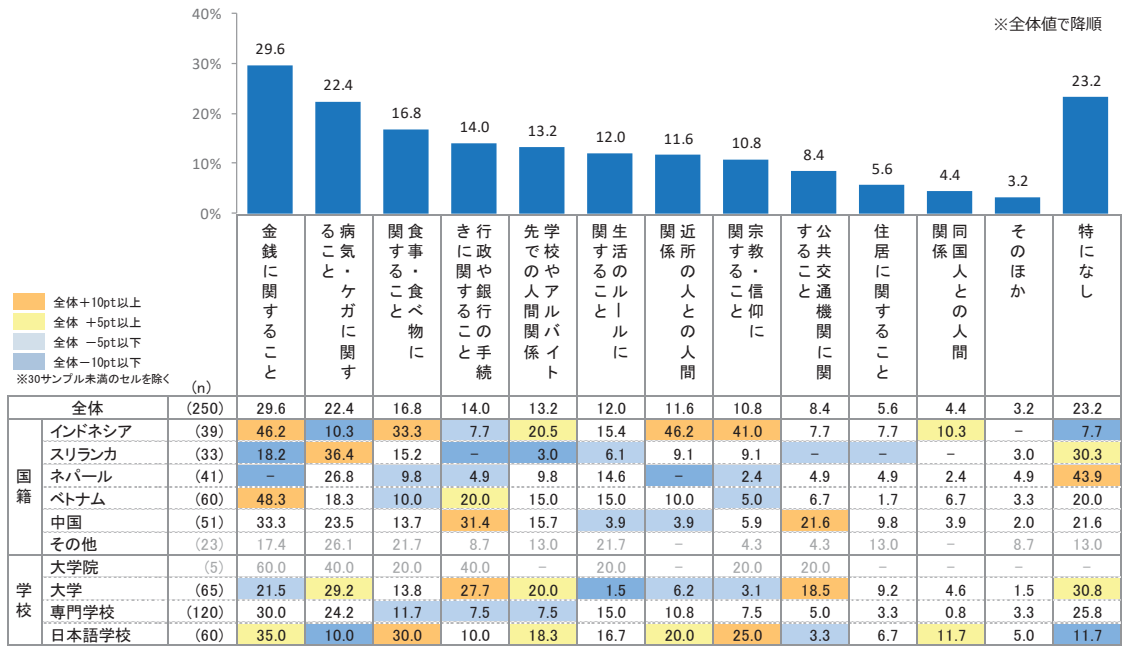
■ 生活で困っていること

- 全体では「金銭に関すること」が30%で最多。次いで「病気・ケガに関すること」が22%。
 - インドネシアでは「近所の人との人間関係」「宗教・信仰に関すること」がともに4割を超え、上位にあがる。
 - スリランカ、ネパールでは「病気・ケガに関すること」が最多。また、「特になし」の割合が比較的高い。

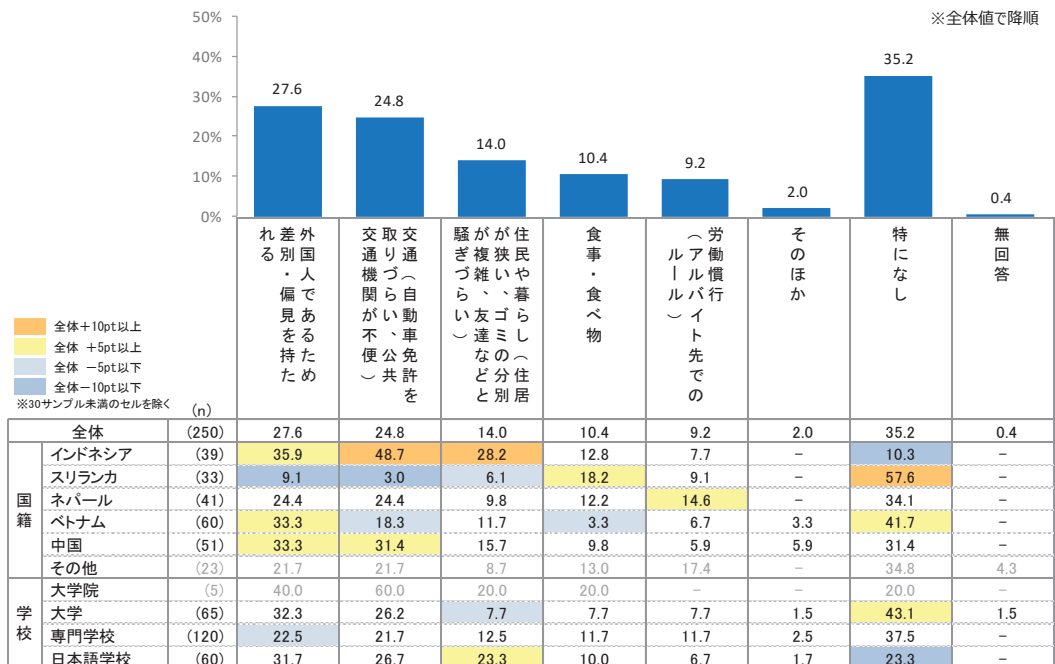
■ 生活する上で受け入れられないこと

- 全体では「外国人であるため差別・偏見を持たれる」「交通」が各2割台で上位。
 - 国籍別にみると、インドネシアでは他国に比べて「交通」(49%)が多くあがる。

Q15. 日本で生活する上で困っていることは何ですか。(MA)



Q16. 日本で生活する上で受け入れられないことは何ですか。(MA)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

アルバイトの状況(日本でのアルバイト経験と探し方)

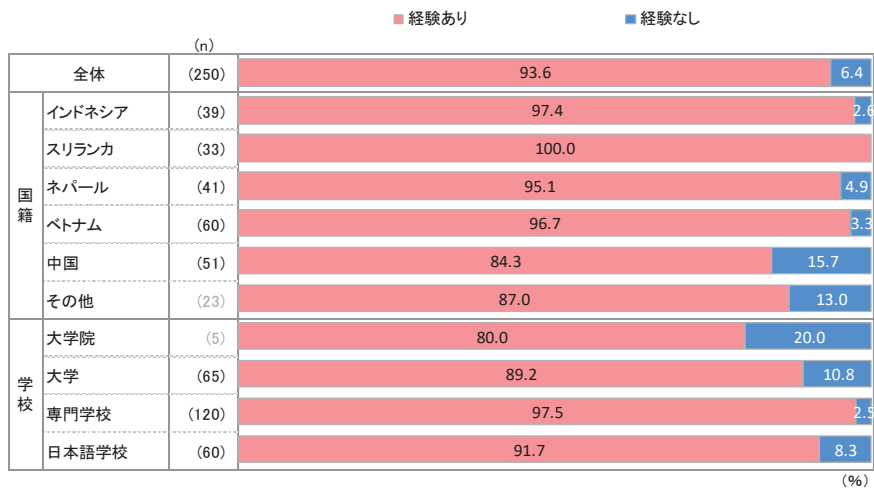
■ 日本でのアルバイト経験

- 全体では「経験あり」が94%を占める。
 - 国籍別に経験者の割合をみると、中国(84%)のほかは各層ともに95%以上。

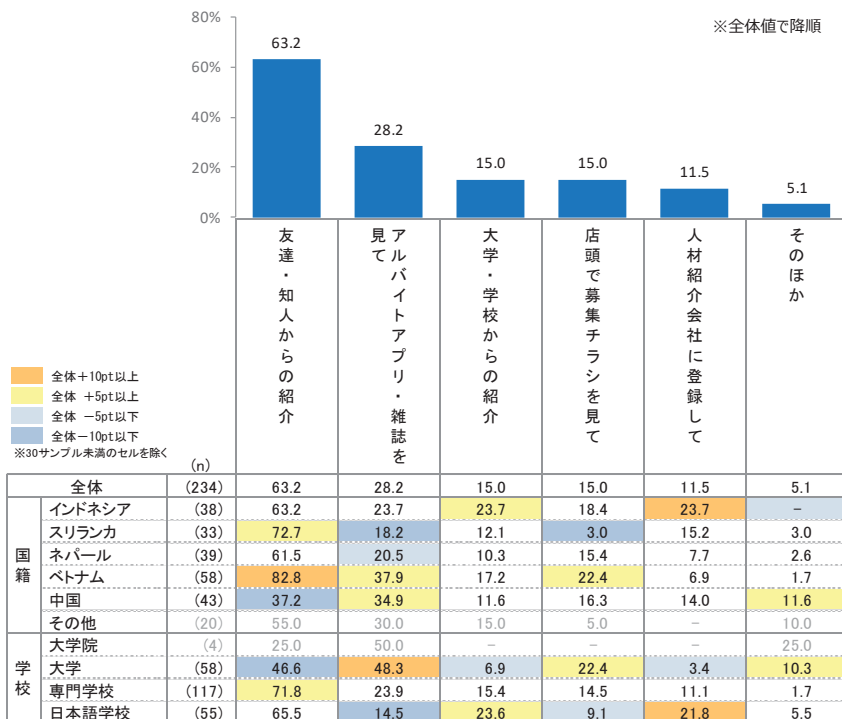
■ アルバイト先の探し方

- 全体では「友達・知人からの紹介」が63%で最多。次いで「アルバイトアプリ・雑誌」が28%。
 - 国籍別にみると、中国では「友達・知人からの紹介」が3割台にとどまり、他国に比べて低い。
 - 「アルバイトアプリ」の利用率はベトナム(38%)、次いで中国(35%)が高い。
 - 学校別にみると、専門学校、日本語学校では「友達・知人からの紹介」が6~7割で最多。大学では「アルバイトアプリ・雑誌」(48%)、「友達・知人からの紹介」(47%)が同程度となっている。

Q17-1. あなたは日本でアルバイトの経験がありますか。(SA)



Q17-2. アルバイト先の探し方をお答えください。(MA) <日本でのアルバイト「経験あり」と回答した者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

アルバイトの状況(アルバイトをする理由／業種)

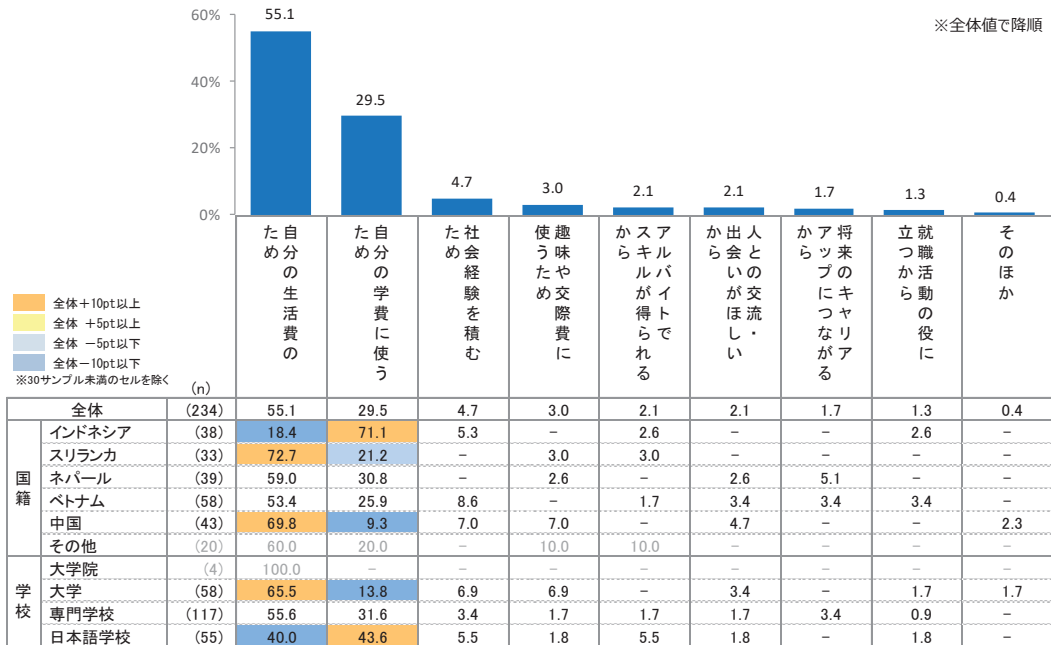
■ アルバイトをする理由

- ・ 全体では「自分の生活費のため」が55%で最多。次いで「自分の学費に使うため」が30%。
 - 国籍別にみると、インドネシアでは「生活費」が2割弱にとどまり、「学費」が7割で最多となっている。
 - 学校別にみると、日本語学校>専門学校>大学の順で「学費」の比重が高まる傾向。

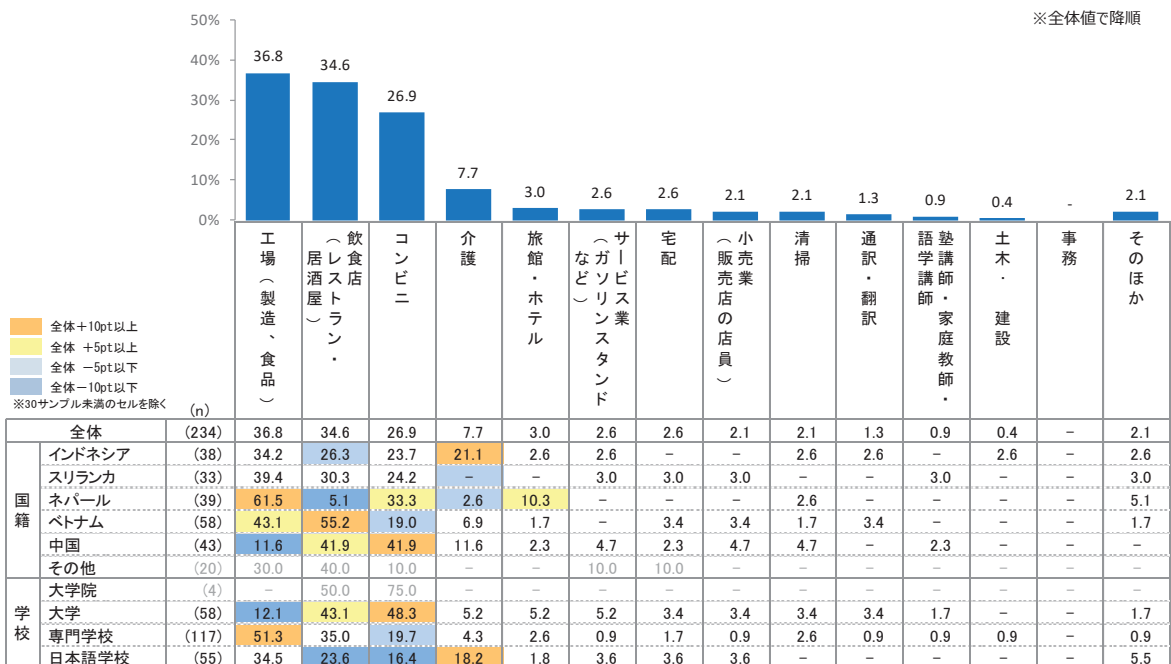
■ アルバイトの業種

- ・ 全体では「工場」(37%)、「飲食店」(35%)、「コンビニ」(27%)が上位。
 - ネパールでは「工場」、ベトナムでは「飲食店」が5~6割と特に高い。「コンビニ」は中国で多くあがる。
 - 学校別にみると大学では「コンビニ」、専門学校、日本語学校では「工場」が最多となっている。

Q17-3. アルバイトをする一番の理由を教えてください。(SA) <日本でのアルバイト「経験あり」と回答した者>



Q18. アルバイトの業種をお答えください。(MA) <日本でのアルバイト「経験あり」と回答した者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

アルバイトの状況(アルバイトの時給／稼働時間)

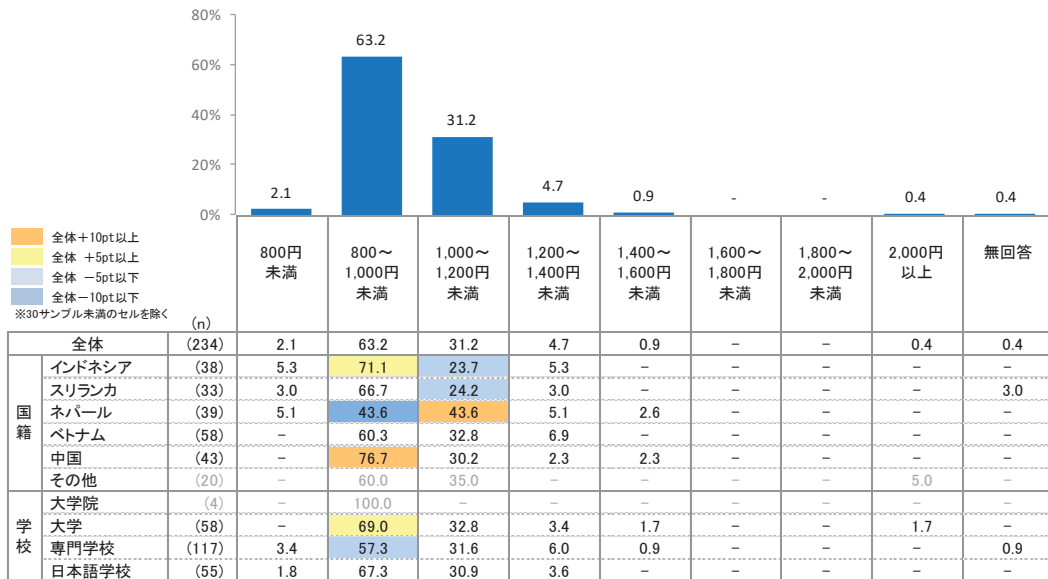
■ アルバイトの時給

- 全体では「800～1,000円未満」が63%で最多。次いで「1,000～1,200円未満」が31%。
 - 国籍別にみると、ネパールでは「1,000～1,200円未満」が4割を超え、他国に比べて高い。

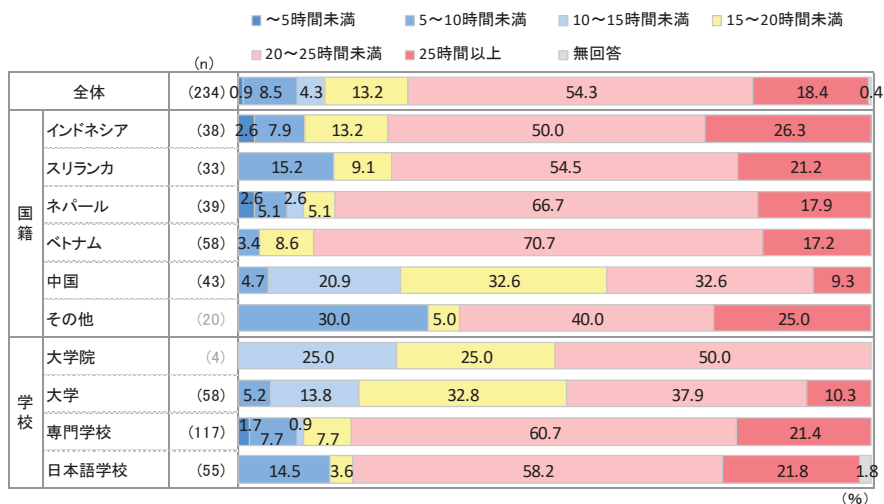
■ アルバイト時間(1週間あたり)

- 「20～25時間未満」が54%で最多。次いで「25時間以上」が18%。
 - 国籍別では中国、学校別では大学で「15～20時間未満」がともに3割を超え、他の層に比べて高い。

Q19. アルバイトの時給をお答えください。(MA) <日本でのアルバイト「経験あり」と回答した者>



Q20. 1週間あたりのアルバイト時間をお答えください。(SA) <日本でのアルバイト「経験あり」と回答した者>



住居について(住まいを探す方法／住まいの種類)

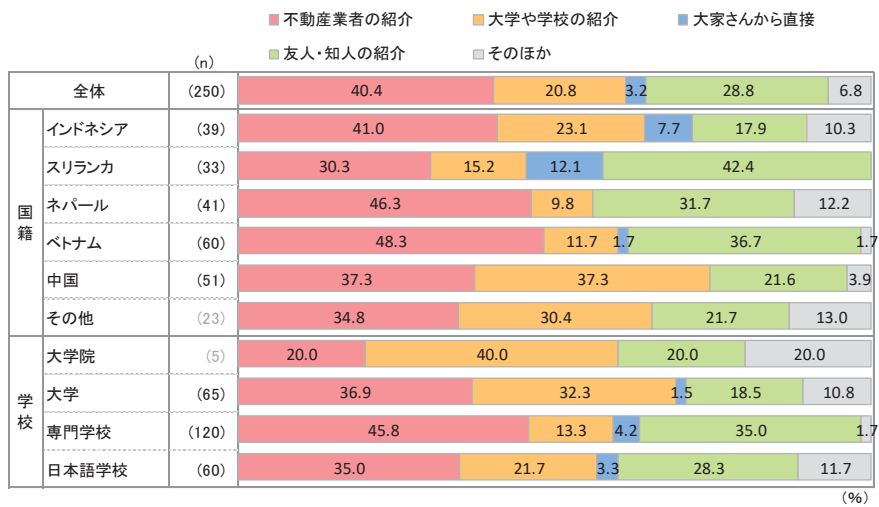
■ 住まいの探し方

- 全体では「不動産業者の紹介」が4割、「友人・知人の紹介」が3割、「大学や学校の紹介」が2割。
 - 国籍別にみると、ベトナム、ネパールでは「不動産業者からの紹介」が半数近くを占める。
 - スリランカでは「友人・知人の紹介」が4割を超え、最も高い。
 - 中国では「大学や学校の紹介」が「不動産業者の紹介」と並んで多くあがる。

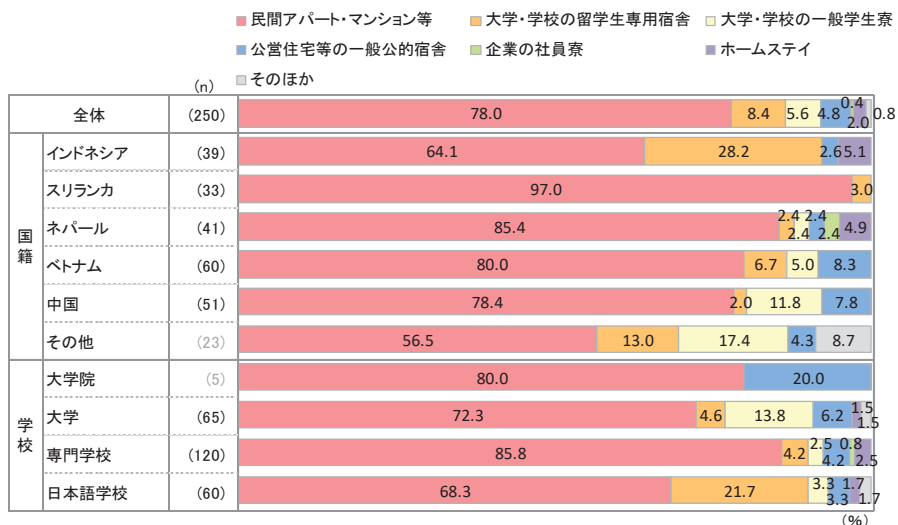
■ 住まいの種類

- 全体では「民間アパート・マンション等」が78%を占める。
 - 国籍別にみると、スリランカではほぼ全員が「民間アパート・マンション等」と回答。
 - インドネシアでは「大学・学校の留学生専用宿舎」が約3割と、他国に比べて高い。

Q21. あなたのお住まいは、どのように探しましたか。(SA)



Q22. あなたのお住まいは次のうちどれに当てはまりますか。(SA)

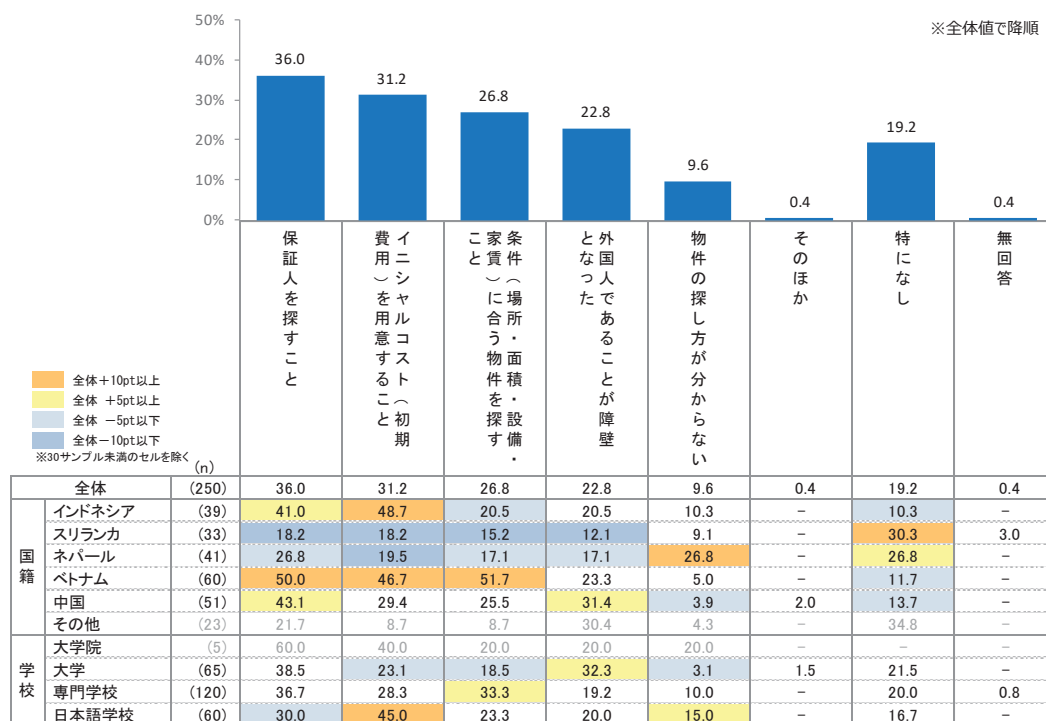


住居について(住まいを探す際に困ったこと)

■ 住まいを探す際に困ったこと

- 全体では「保証人を探すこと」が36%で最多。次いで「イニシャルコストを用意すること」が31%。
 - 国籍別にみると、ベトナムでは「保証人を探すこと」「イニシャルコスト」「条件に合う物件を探すこと」が、いずれも5割前後と高い。
 - 「保証人を探すこと」はインドネシアと中国、「イニシャルコスト」はインドネシアにおいても各4割台と高め。
 - ネパールでは「物件の探し方が分からない」(27%)が「保証人を探すこと」と並び、困りごとのトップ。
 - 他方、スリランカでは全般的に困りごとをあげる割合が他国と比べて低い。
 - 学校別にみると、日本語学校では「イニシャルコスト」が4割を超え、他の層を大きく上回る。一方、大学では「外国人であることが障壁となった」、専門学校では「条件に合う物件を探すこと」が各3割強と、他の層に比べて高い。

Q23. お住まいを探す際に困ったことをお答えください。(MA)



住居について(希望物件を断られた経験)

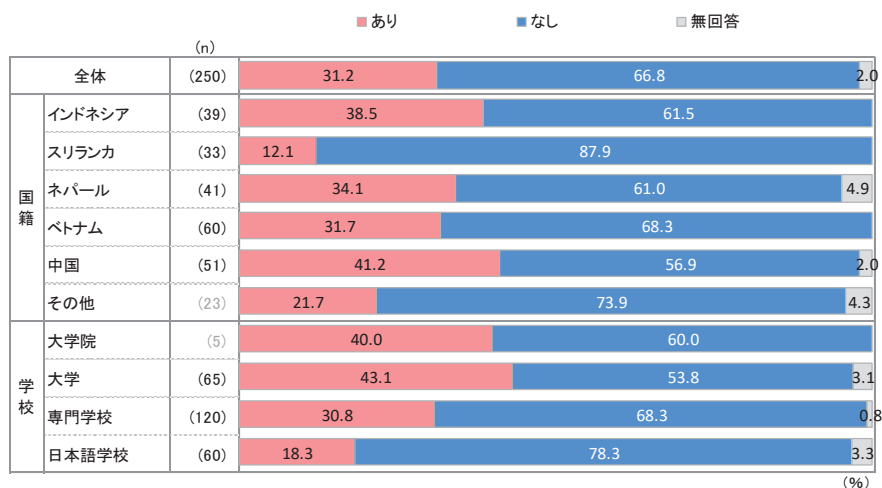
■ 希望の物件を断られた経験

- 全体では「あり」が31%。
 - 国籍別に「あり」の割合をみると、中国(41%)、次いでインドネシア(39%)で高い。最も低いのはスリランカで12%。

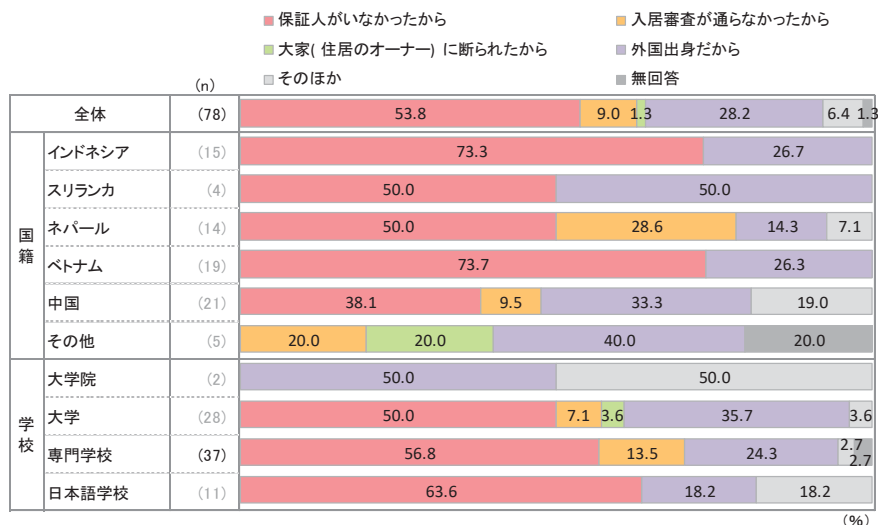
■ 断られた主な理由

- 全体では「保証人がいなかったから」が54%で最多。次いで「外国出身だから」が28%。

Q24-1. 入居を希望した物件を断られた経験はありますか。(SA)



Q24-2. 断られた主な理由を一つだけお答えください。(SA) <物件を断られた経験「あり」と回答した者>



住居について(同居人数)

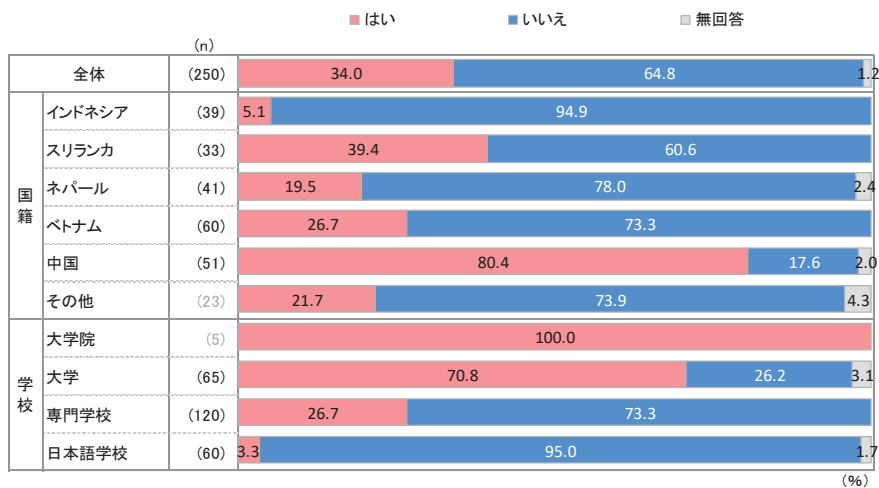
■ ひとり暮らしか否か

- ひとり暮らしの割合は全体の34%。
 - 国籍別にみると、中国ではひとり暮らしが80%と圧倒的多数。インドネシア、ネパールでは複数で居住の割合が8~9割程度と高い。
 - 学校別にみると、大学生ではひとり、専門学校、日本語学校では複数での居住が多数を占める。

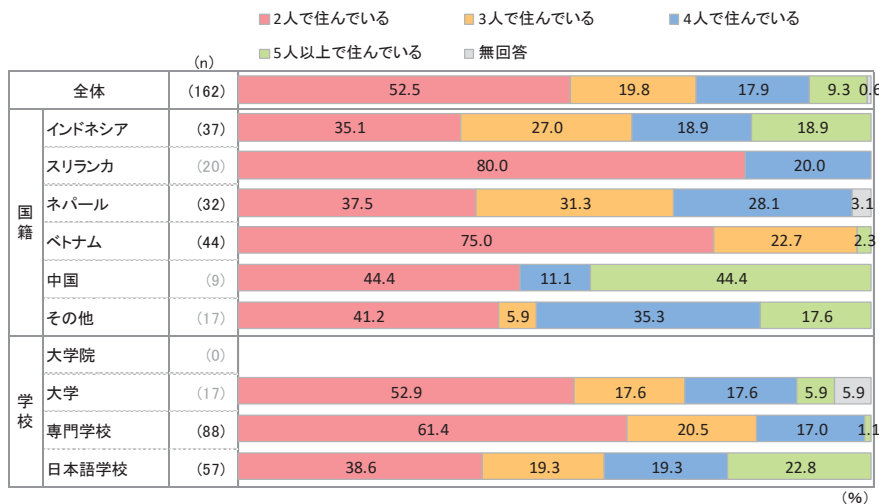
■ 同居人の人数

- 全体では「2人」が53%で最多。次いで「3人」「4人」がともに約2割。
 - 参考値を含むが、国籍別では傾向の差が大きく、インドネシア、ネパールでは『3人以上』が各6割程度と高い。

Q25-1. あなたは一人で住んでいますか。(SA)



Q25-2. 何人で住んでいますか。(SA) <2人以上で住んでいると回答した者>



住居について(個人で使用できる面積／家賃)

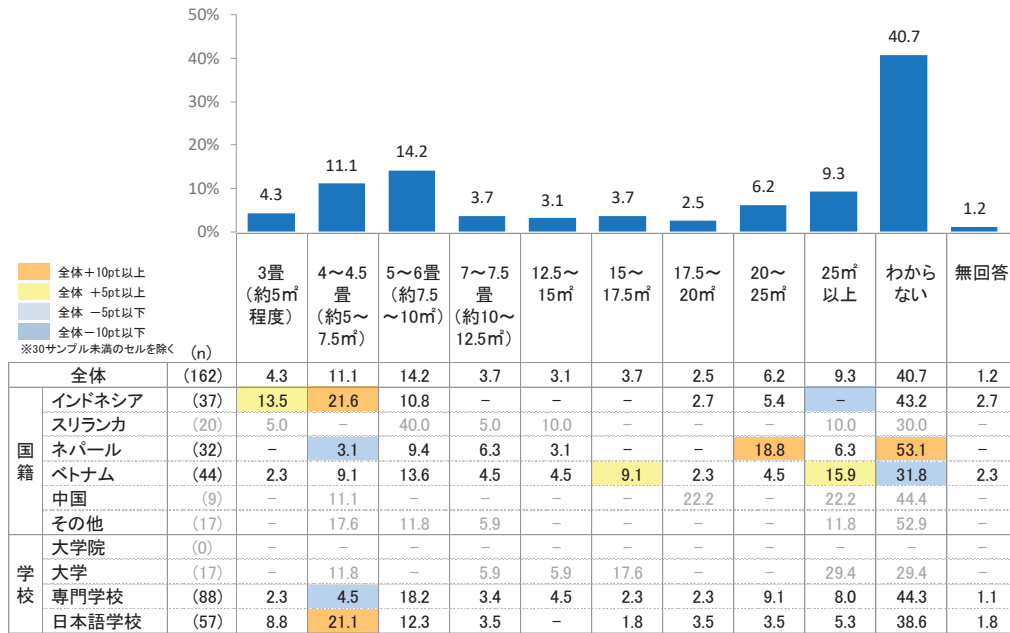
■ 個人で使用できる面積

- 全体では「わからない」が4割を占めるが、具体的な回答では「5～6畳」(14%)、「4～4.5畳」(11%)、「25㎡以上」(9%)が比較的多い。

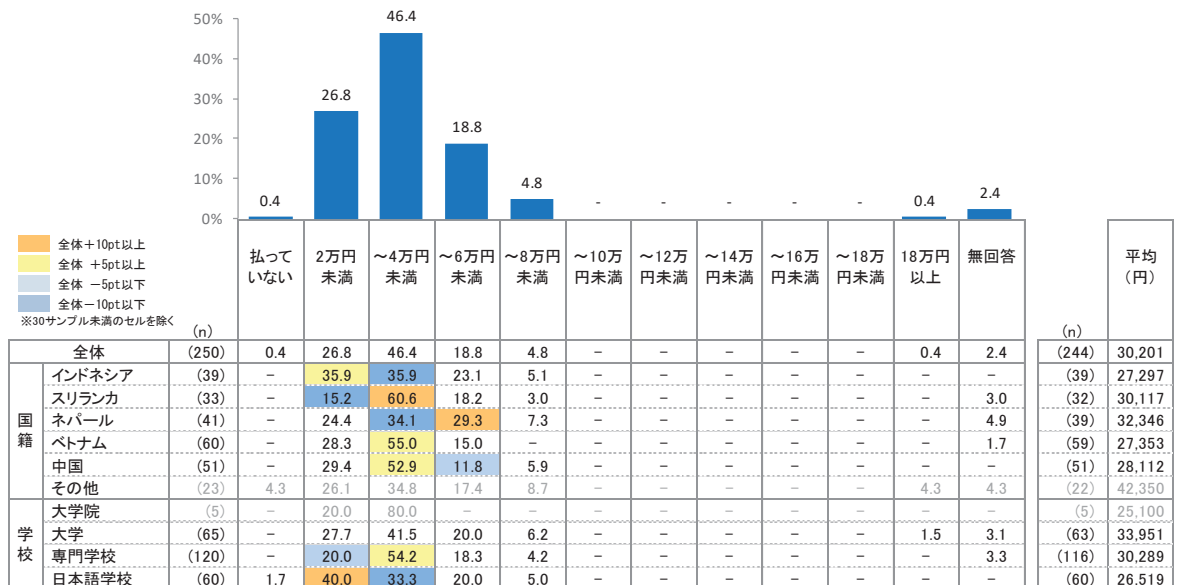
■ 1ヶ月分の家賃

- 全体では「2万円～4万円未満」が46%で最多。次いで「2万円未満」が27%、「4万円～6万円未満」が19%。
- 学校別にみると、大学、専門学校では「2万円～4万円未満」、日本語学校では「2万円未満」が最も多い。

Q26. 現在住んでいる部屋の中で、個人で使用できる面積を教えてください。(SA) <2人以上で住んでいると回答した者>



Q27. 現在あなたが払うヶ月分の家賃(光熱水費を除く)を教えてください。



トラブルや病気への対処(相談相手／公的・医療機関利用時の不安)

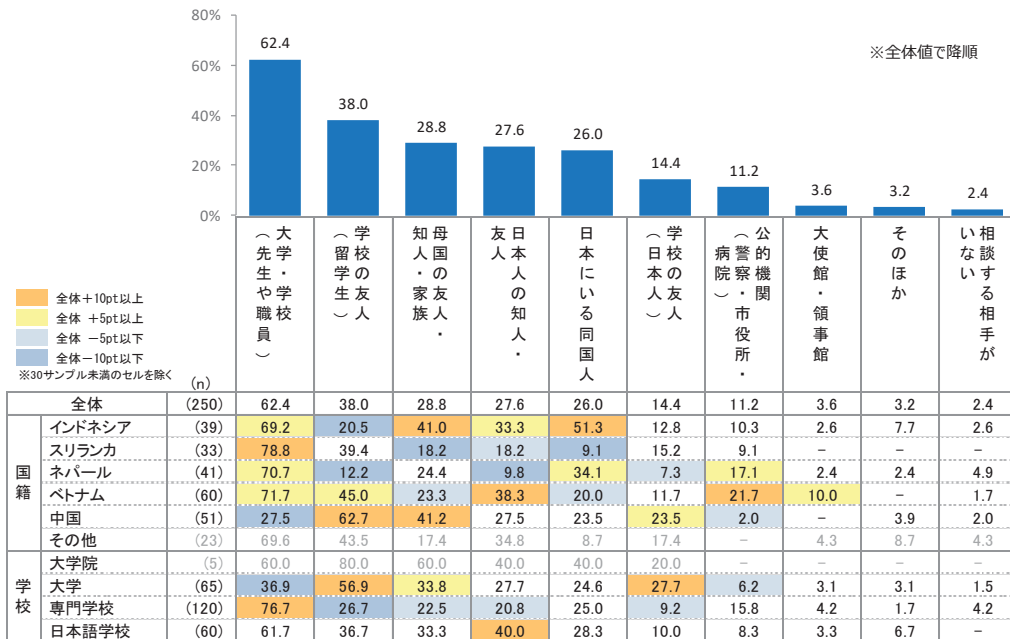
■ 困った時の相談相手・機関

- 全体では「大学・学校」が62%で最多。次いで「学校の友人(留学生)」が38%。
 - 国籍別にみると、スリランカで「大学・学校」が約8割と特に高い。
 - 国籍別の中国、学校別の大学では「大学・学校」が2~3割と低く、「学校の友人(留学生)」が多くあがる。

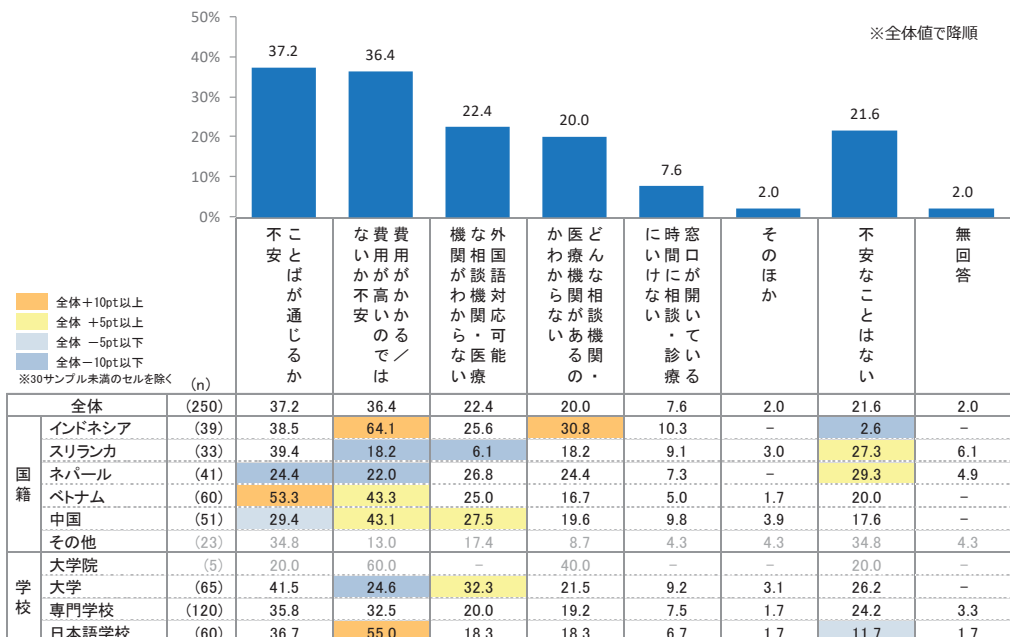
■ 公的機関・医療機関の利用時に不安なこと

- 全体では「ことばが通じるか」(37%)、「費用がかかる／高いのではないか」(36%)が上位。
 - インドネシア、中国では「費用」、スリランカ、ベトナムでは「ことばが通じるか」により不安を感じる傾向。
 - 学校別にみると、日本語学校では「費用」が5割と最も高く、他の層との差が大きい。

Q28. 困った時に相談する相手や機関をお答えください。(MA)



Q29. 公的機関・医療機関を利用する際に不安なことをお答えください。(MA)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

トラブルや病気への対処(日本での受診経験)

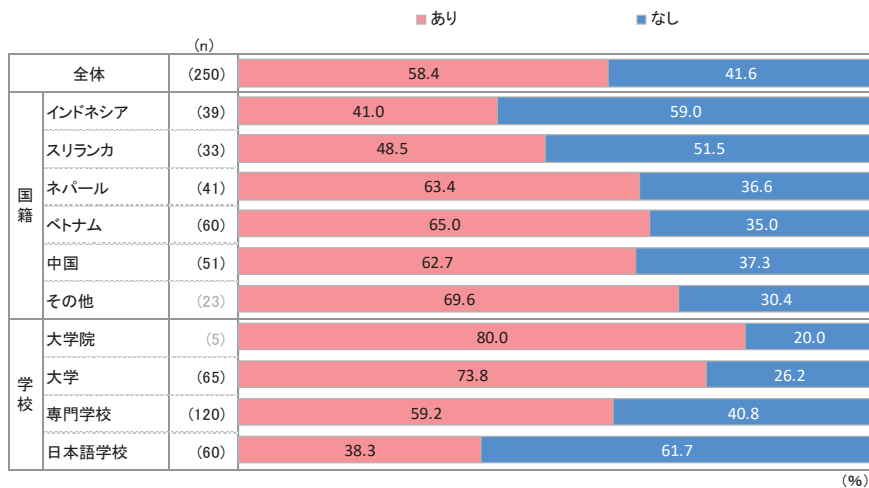
■ 日本での病院の受診経験

- 全体では「あり」が58%。
 - ネパール、ベトナム、中国では受診経験者が6割を超えるのに対し、インドネシア、スリランカでは4割台にとどまる。
 - 学校別に経験率をみると、大学(74%)>専門学校(59%)>日本語学校(38%)の順に高い。

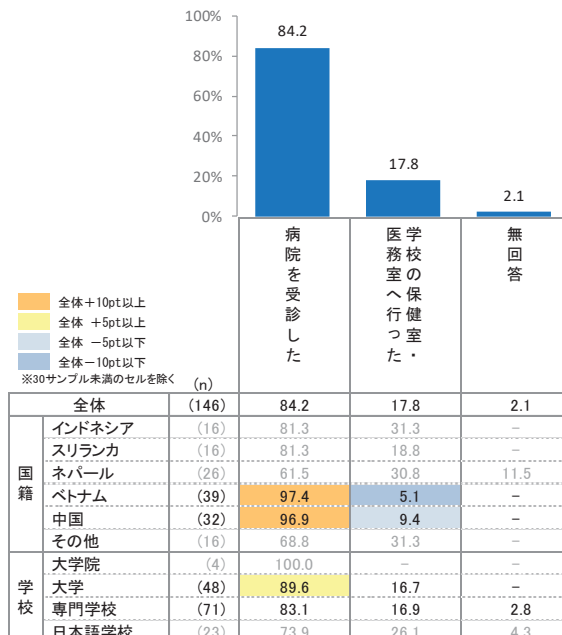
■ 受診した場所

- 受診した場所は「病院」が84%。「学校の保健室・医務室」の利用経験者は18%。

Q30-1. 日本で病院を受診したことはありますか。(SA)



Q30-2. それはどこですか。(MA) <受診経験「あり」と回答した者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

トラブルや病気への対処(非受診理由／公的機関の認知)

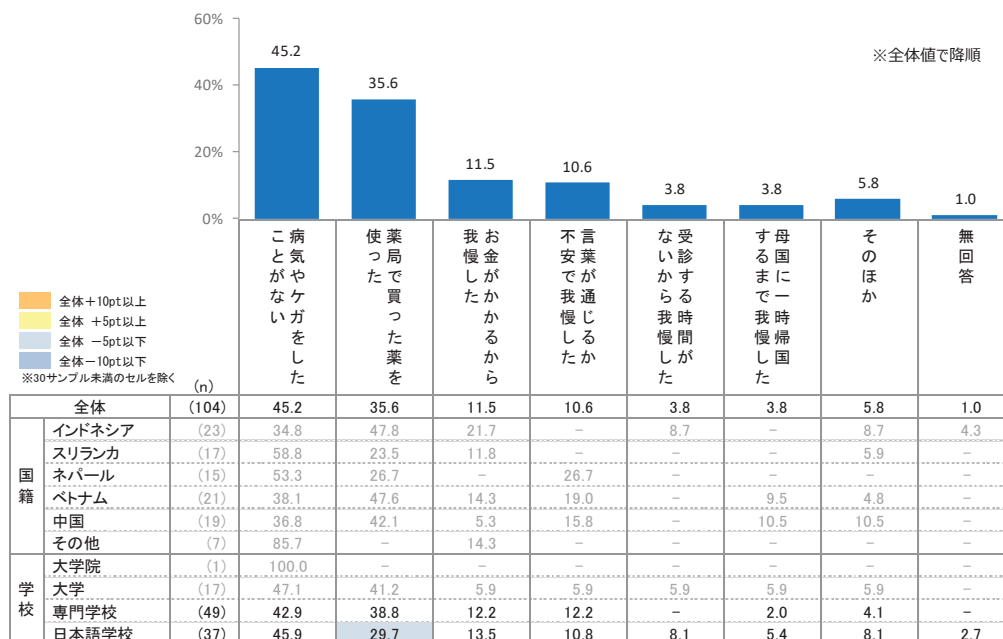
■ 受診していない理由

- ・「病気やケガをしたことがない」(45%)、「薬局で買った薬を使った」(36%)が理由の上位。
- ・「お金がかかる」「言葉が通じるか不安」など、経済事情や言語障壁を理由に受診しなかった人は各1割強。

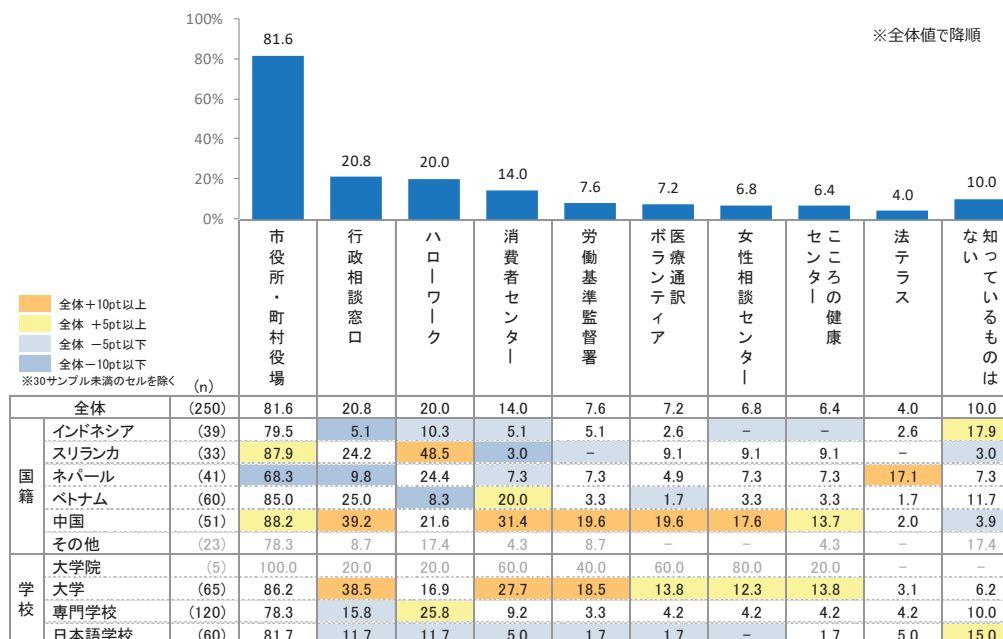
■ 公的機関の認知

- ・「市役所・町村役場」が82%と最も高い。続く「行政相談窓口」「ハローワーク」の認知はそれぞれ2割程度。

Q30-3. それはなぜですか。(MA) <受診経験「なし」と回答した者>



Q31. 次の公的機関のうち知っているものに、全て○をつけてください。(MA)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(卒業後の予定／希望の業務内容)

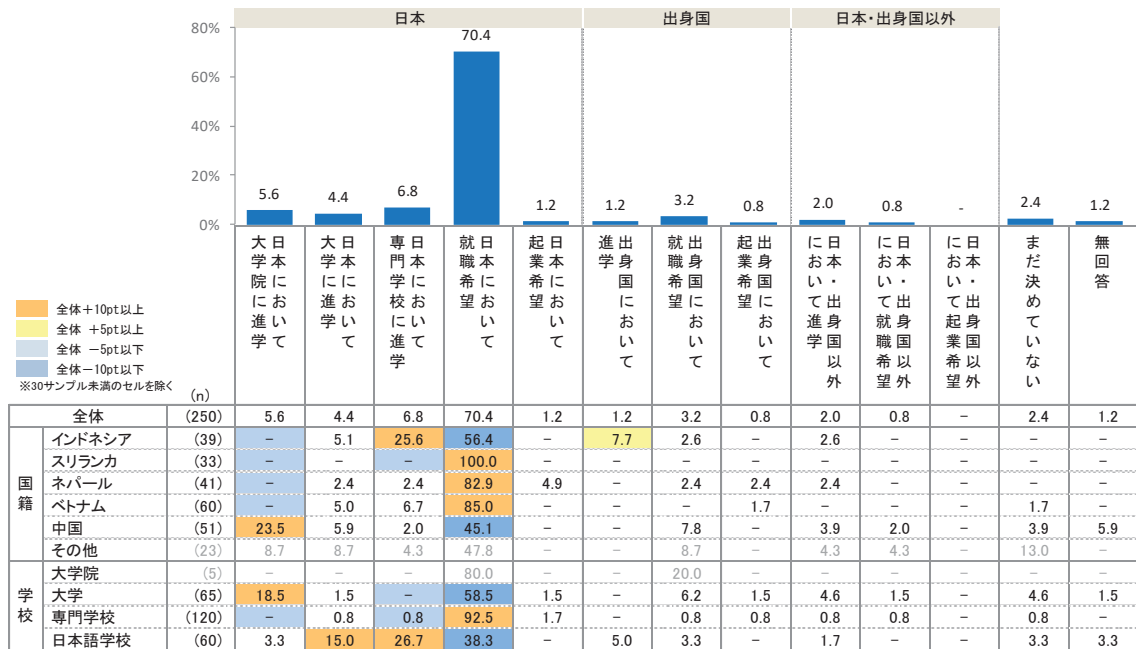
■ 卒業後の予定

- 全体では「日本において就職希望」が70%と突出。

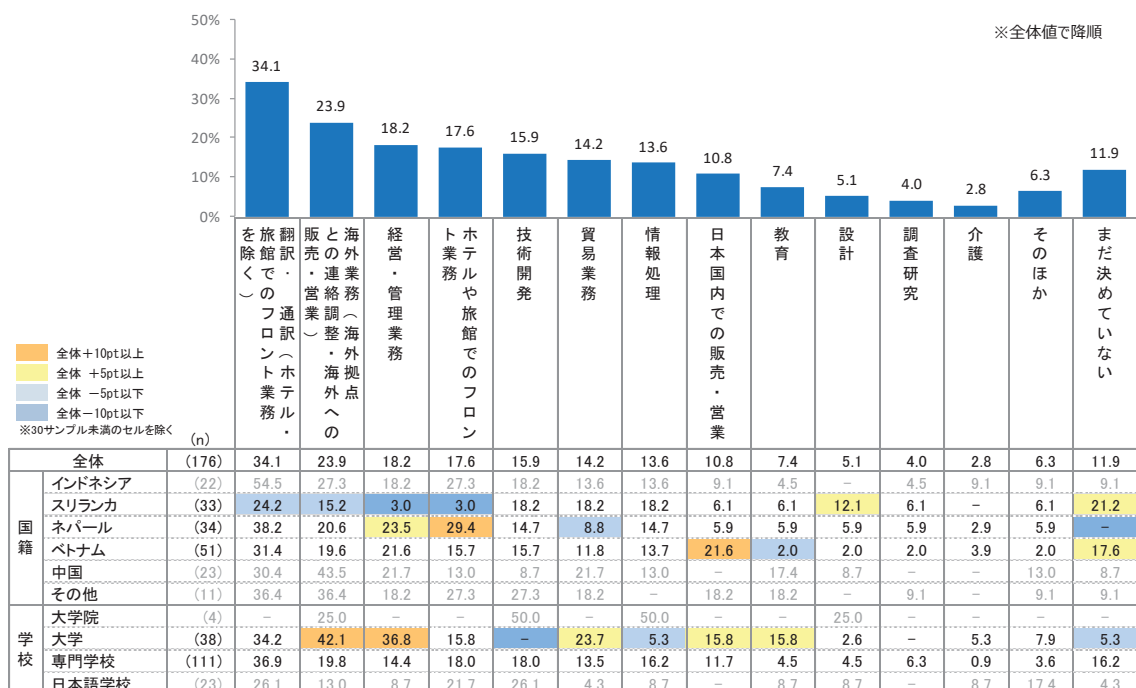
■ 希望の業務内容

- 前問で「日本において就職」と回答した人が希望する業種をみると、「翻訳・通訳(ホテル・旅館でのフロント業務を除く)」(34%)、次いで「海外業務(海外拠点との連絡調整・海外への販売・営業)」(24%)が多くあがる。

Q32. あなたの卒業後の予定を教えてください。(SA)



Q33. あなたの希望する業務内容を教えてください。(MA) <日本での就職希望者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(日本で働きたい期間/就活で不安なこと)

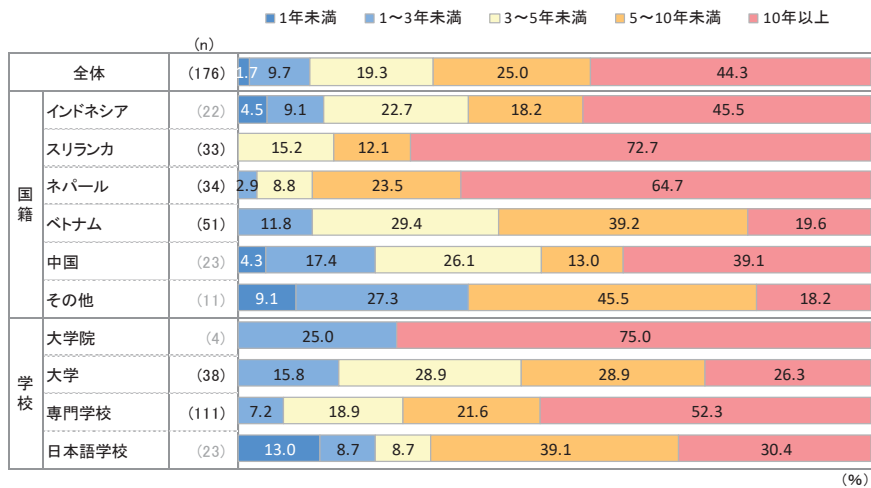
■ 日本で働きたいと思う期間

- 日本での就職希望者が働きたいと思う期間は、「10年以上」が44%で最多。「5～10年未満」が25%で続き、「5年以上」がほぼ7割を占める。

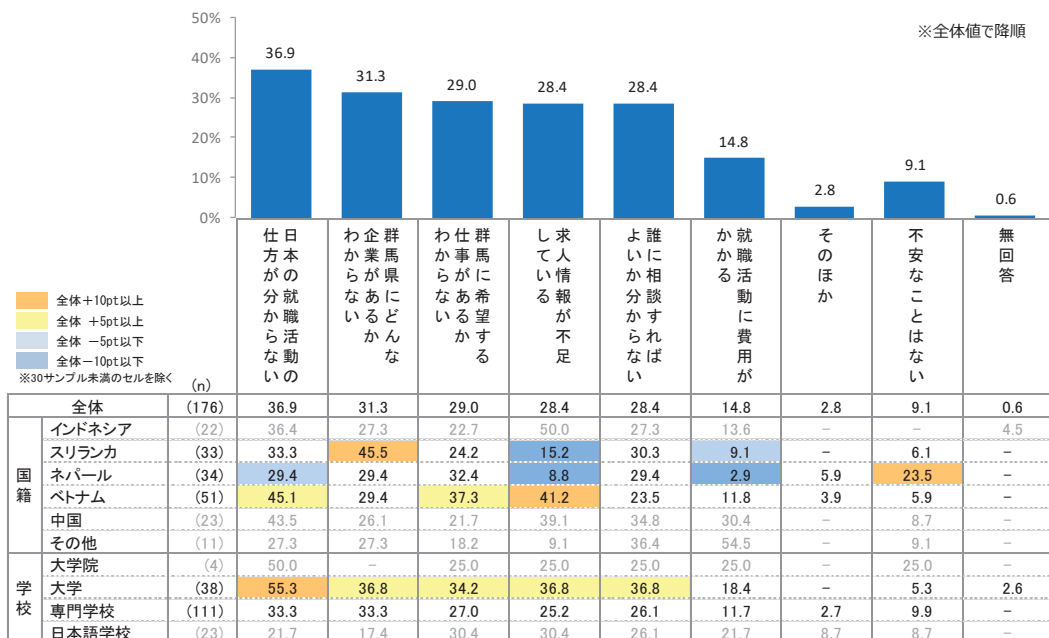
■ 就職活動で不安なこと

- 「日本の就職活動の仕方が分からない」(37%)が不安に思うことのトップ。
- 以下、「群馬県にどんな企業があるかわからない」「群馬に希望する仕事があるかわからない」「求人情報が不足している」「誰に相談すればよいか分からない」がそれぞれ3割前後で続く。

Q34. あなたはどのくらいの期間日本で働きたいですか。(SA) <日本での就職希望者>



Q35. 就職活動への不安なことを教えてください。(MA) <日本での就職希望者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(仕事の探し方／相談窓口の認知)

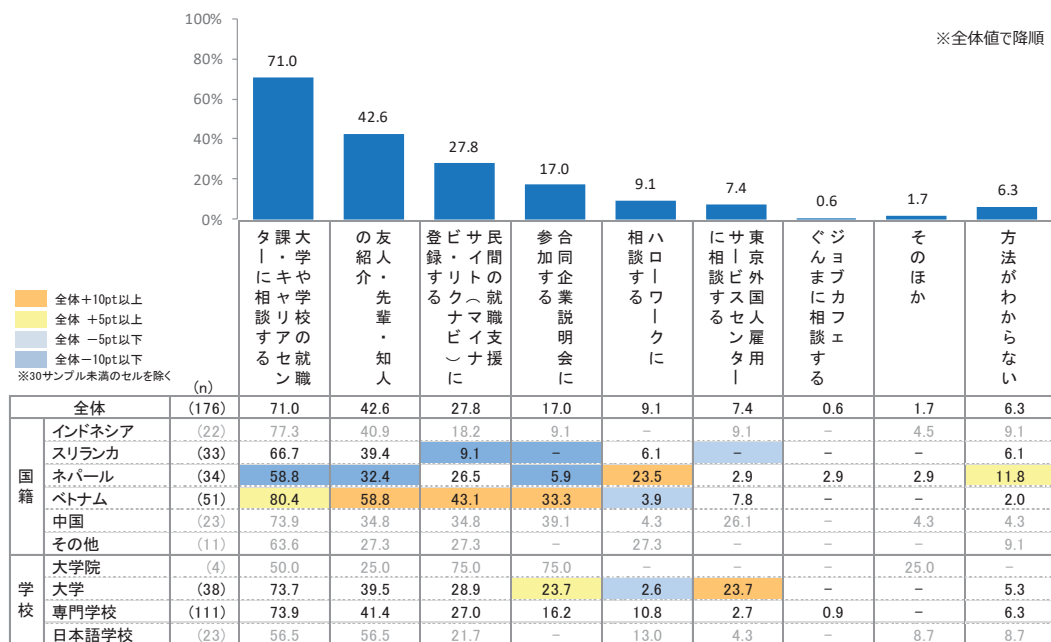
■ 仕事を探す際の方法

- 「大学や学校の就職課・キャリアセンターに相談する」が71%で最多。以下、「友人・先輩・知人の紹介」(43%)、「民間の就職支援サイトに登録する」(28%)と続く。

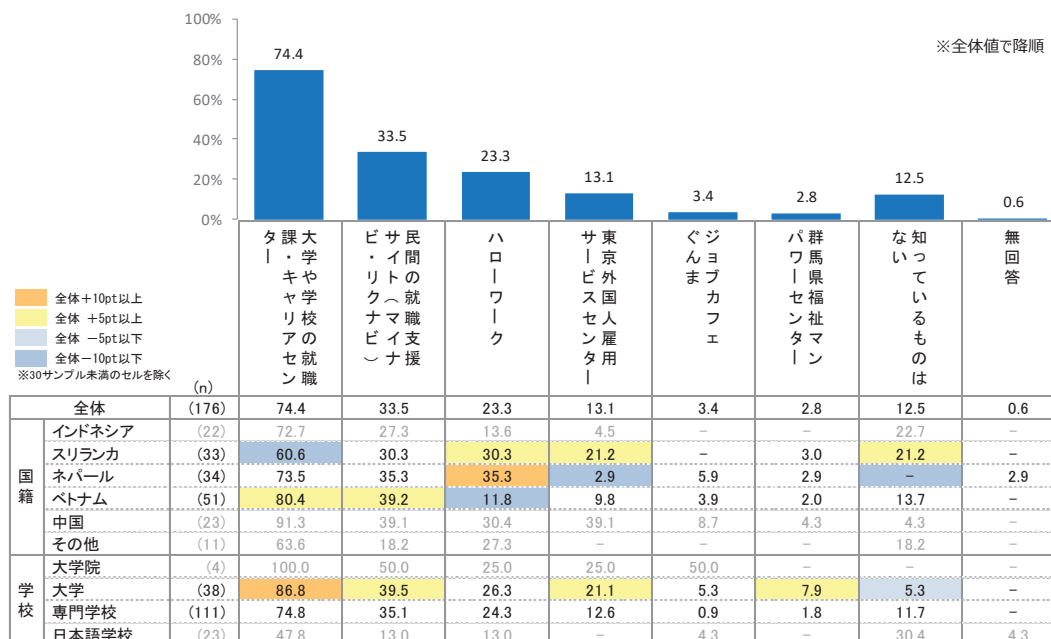
■ 就職相談窓口の認知

- 「大学や学校の就職課・キャリアセンター」が74%と最も高い。
- 以下、「民間の就職支援サイト」(34%)、「ハローワーク」(23%)、「東京外国人雇用サービスセンター」(13%)、「ジョブカフェぐんま」「群馬県福祉マンパワーセンター」(各3%)の順。

Q36. 仕事を探す際の方法を教えてください。(MA) <日本での就職希望者>



Q37. あなたの知っている就職相談窓口に、全て○をつけてください。(MA) <日本での就職希望者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(選ぶ際の重視点/就活開始時期)

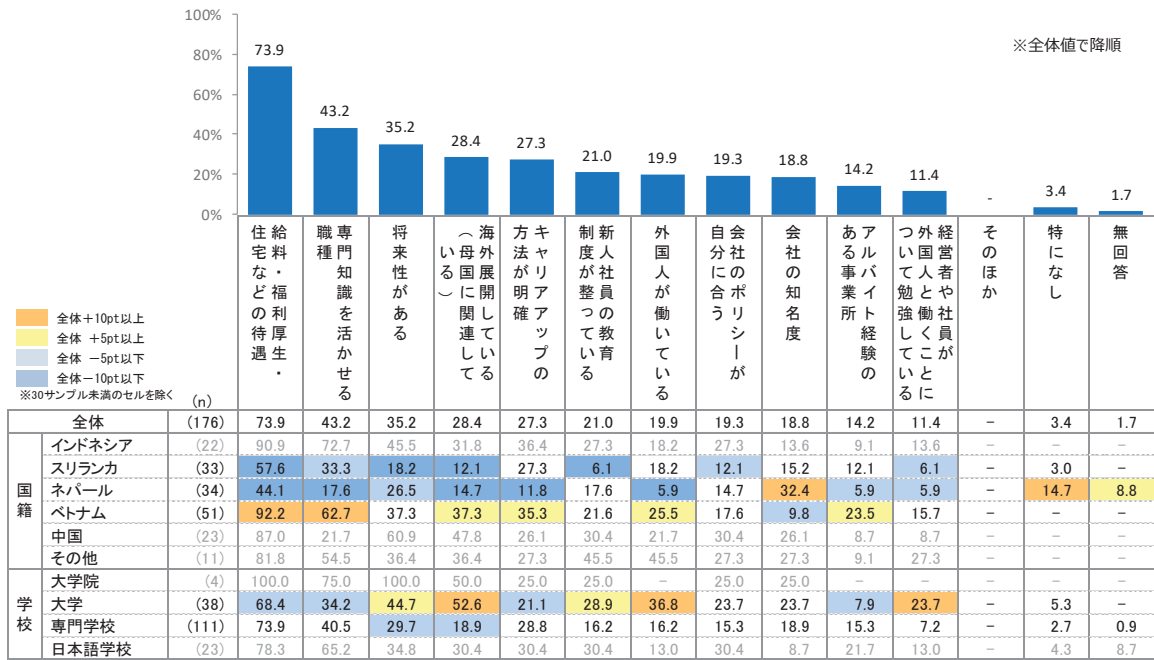
■ 就職先を選ぶ際の重視点

- ・ 「給料・福利厚生・住宅などの待遇」が74%で最多。次いで「専門知識を活かせる職種」が43%、「将来性がある」が35%。

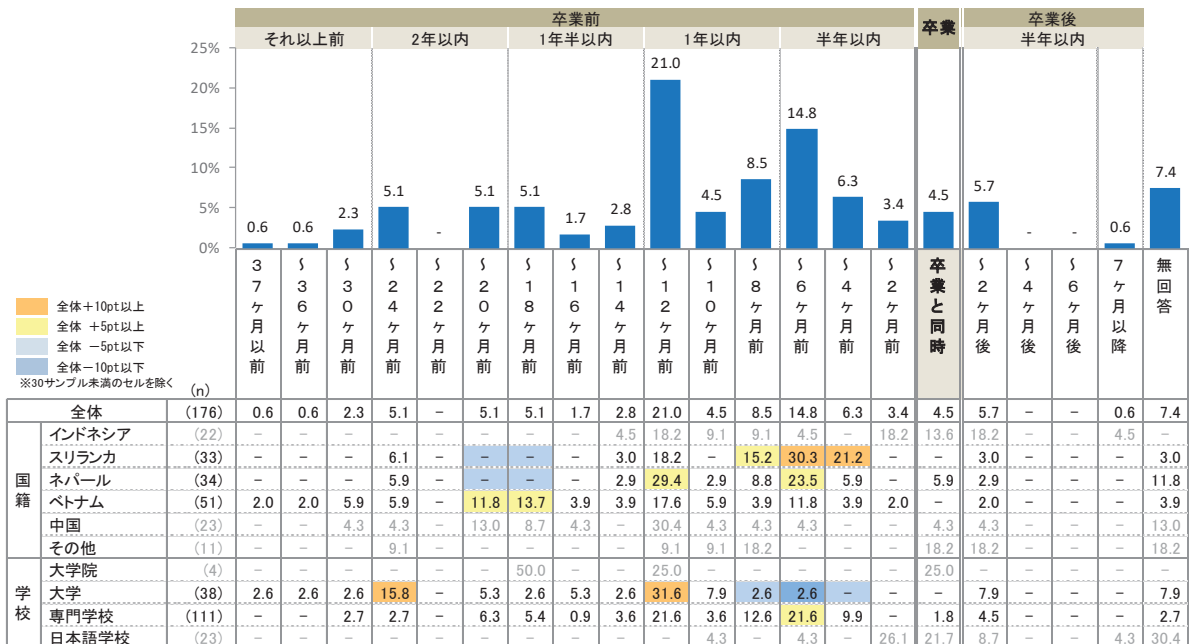
■ 就職活動開始のタイミング

- ・ 「卒業の12ヶ月前」が最も多く、就職希望者の21%。次いで高いのが「卒業の6ヶ月前」で15%。
- ・ 卒業前の1年間に活動を始める人が約6割を占める。1年以上前から始める人は2割強。

Q38. あなたが就職先を選ぶ際に重視することをお答えください。(MA) <日本での就職希望者>



Q39. 卒業年月を起点とした就職活動の開始時期 <日本での就職希望者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(心配ごと／希望する地域)

■ 日本で働く上での心配ごと・受け入れ難いルール

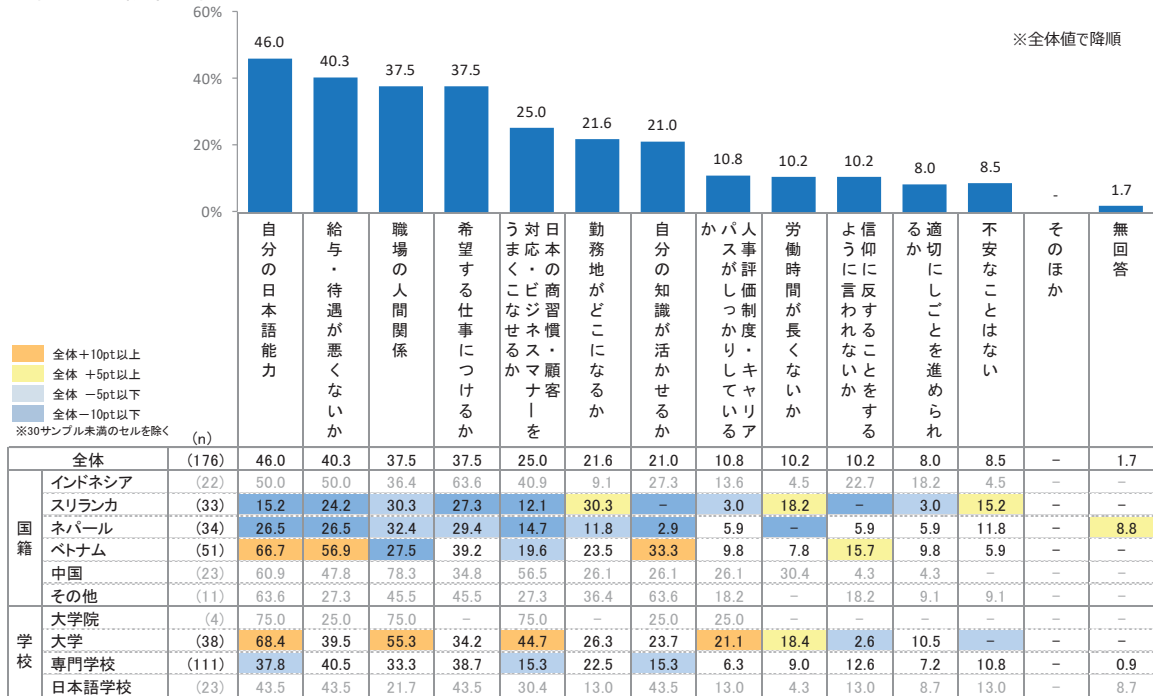
- ・「自分の日本語能力」が46%で最多。以下、「給与・待遇が悪くないか」(40%)、「職場の人間関係」「希望する仕事につけるか」(各38%)と続く。

■ 就職先として希望する地域

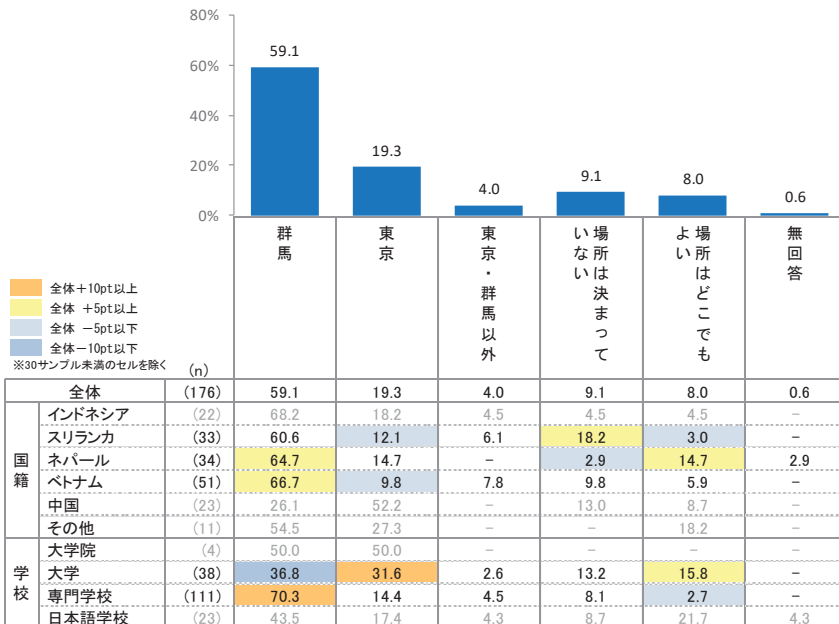
- ・「群馬」が59%と最も高く、「東京」(19%)、「東京・群馬以外」(4%)を大きく上回る。

Q40. 日本で働く上で、心配していること・受け入れることが難しいルールを教えてください。(MA)

<日本での就職希望者>



Q41. 就職希望場所(第1希望)をひとつだけお答えください。(SA) <日本での就職希望者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(群馬県希望理由／就労で不安なこと)

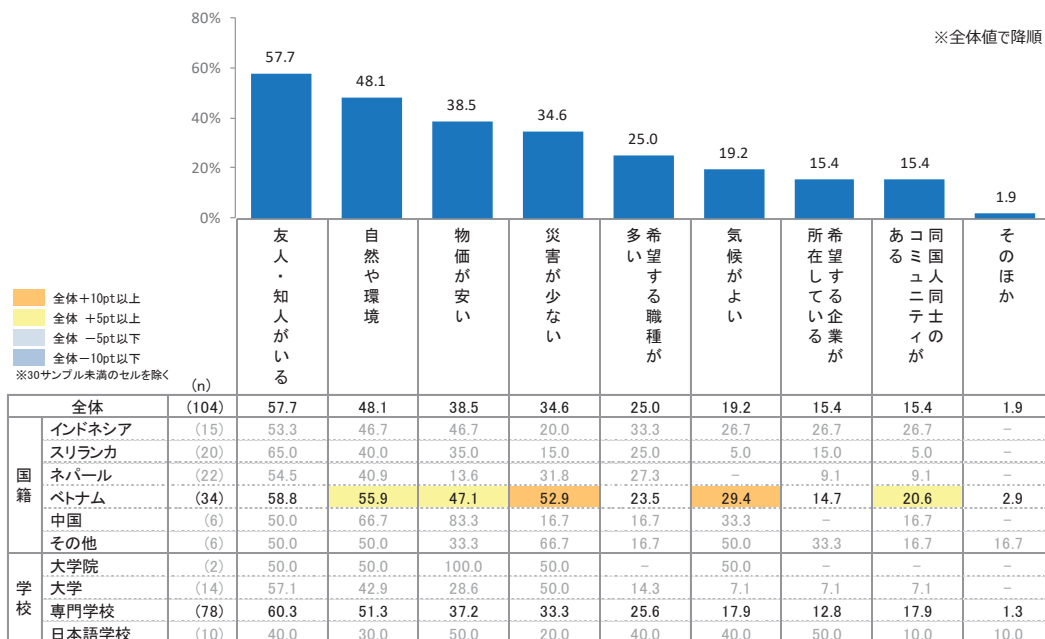
■ 群馬県を希望する理由<群馬県での就職希望者>

- ・「友人・知人がいる」が58%で最多。以下、「自然や環境」(48%)、「物価が安い」(39%)、「災害が少ない」(35%)と続く。

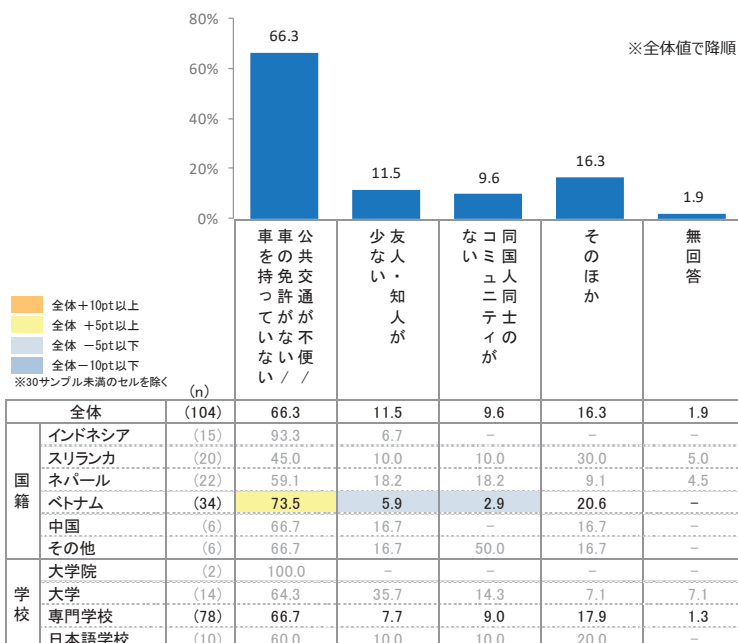
■ 群馬県で就労する上で不安なこと<群馬県での就職希望者>

- ・「公共交通が不便/車の免許がない/車を持っていない」が66%と突出。以下、「友人・知人が少ない」が12%、「同国人同士のコミュニティがない」が10%。

Q42-1. 群馬県を就労場所として希望する理由をお答えください。(MA) <就職希望場所で群馬県選択者>



Q42-2. 群馬県で就労する上で、不安なおことをお答えください。(MA) <就職希望場所で群馬県選択者>



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

卒業後の進路について(群馬県を希望しない理由)

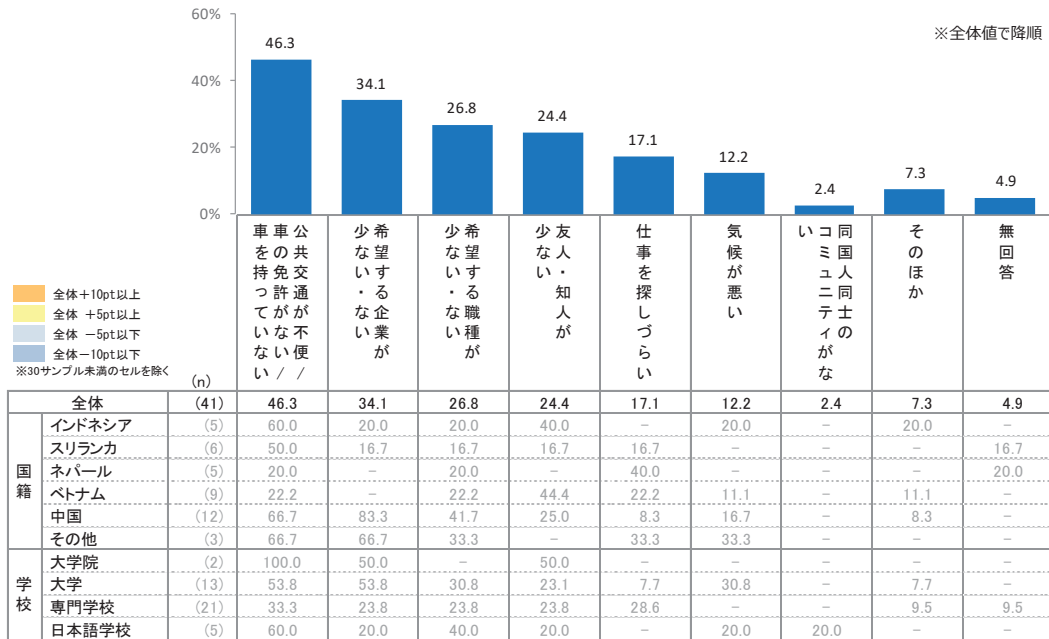
■ 群馬県を希望しない理由<群馬県での就職非希望者>

- ・「公共交通が不便/車の免許がない/車を持っていない」が46%で最多。以下、「希望する企業が少ない・ない」(34%)、「希望する職種が少ない・ない」(27%)、「友人・知人が少ない」(24%)と続く。

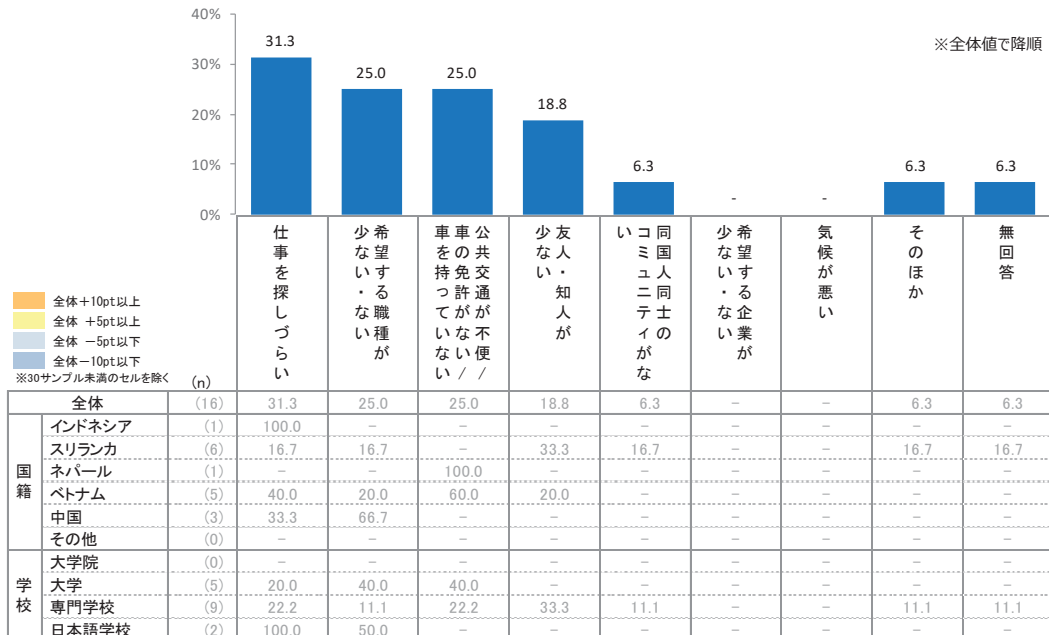
■ 群馬県で就労する上で不安なこと<希望場所未定者>

- ・小サンプルのため参考値だが、「仕事を探しづらい」(31%)、「希望する職種が少ない・ない」「公共交通が不便/車の免許がない/車を持っていない」(各25%)が理由の上位。

Q43-1. 群馬県を就労場所として希望しない理由をお答えください。(MA) <就職希望場所で群馬県以外選択者>



Q44. 群馬県を就労場所とする場合、不安なことをお答えください。(MA) <就職希望場所未定の者>



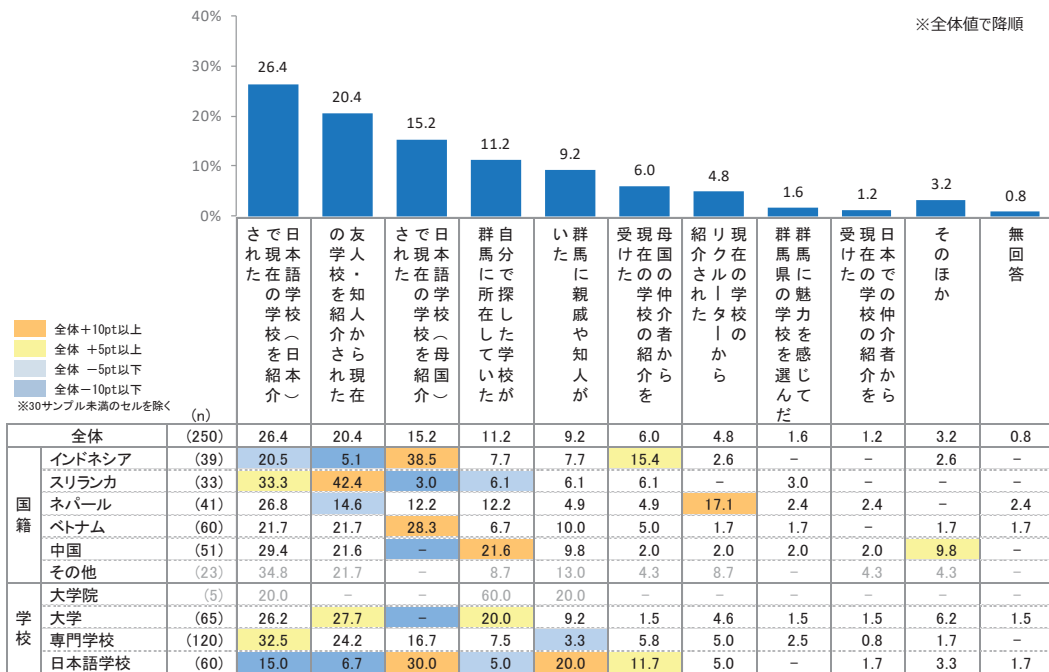
※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。

地域の魅力について(県内就学理由)

■ 群馬県で就学した一番の理由

- ・ 「日本語学校(日本)で現在の学校を紹介された」が26%で最多。次いで「友人・知人から現在の学校を紹介された」が20%。
 - 国籍別にみると、インドネシア、ベトナムでは「日本語学校(母国)で現在の学校を紹介された」、スリランカでは「友人・知人から現在の学校を紹介された」が理由のトップ。
 - ネパールでは「現在の学校のリクルーターから紹介された」が17%と、他国に比べて高い。
 - 学校別にみると、日本語学校では「日本語学校(母国)で現在の学校を紹介された」「群馬に親戚や知人がいた」が理由の上位。

Q45. 群馬で就学している一番の理由をお答えください。(SA)

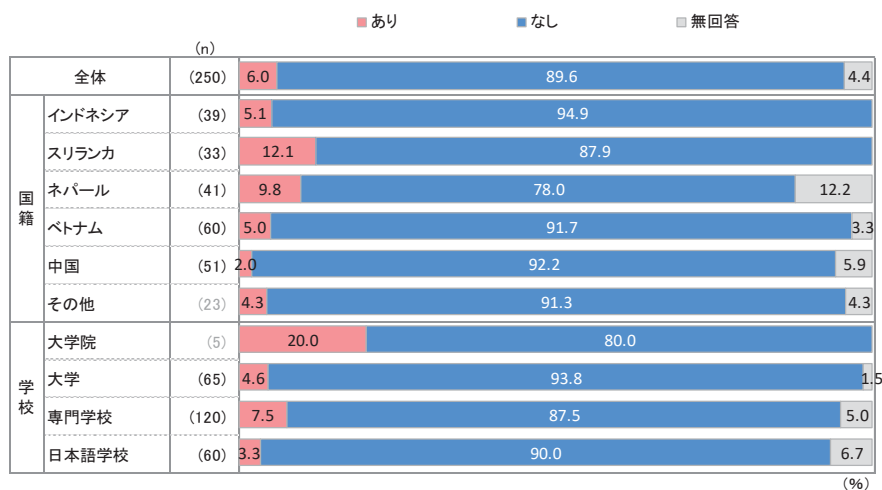


地域の魅力について(外国人コミュニティの有無)

■ 知っている・所属している外国人コミュニティの有無

- 全体では「あり」が6%。
 - 国籍別で「あり」が最も高いのはスリランカで12%。次いでネパールが10%。

Q46-1. 群馬県内で知っている/所属している外国人コミュニティがありますか。(SA)



地域の魅力について(群馬県の名物)

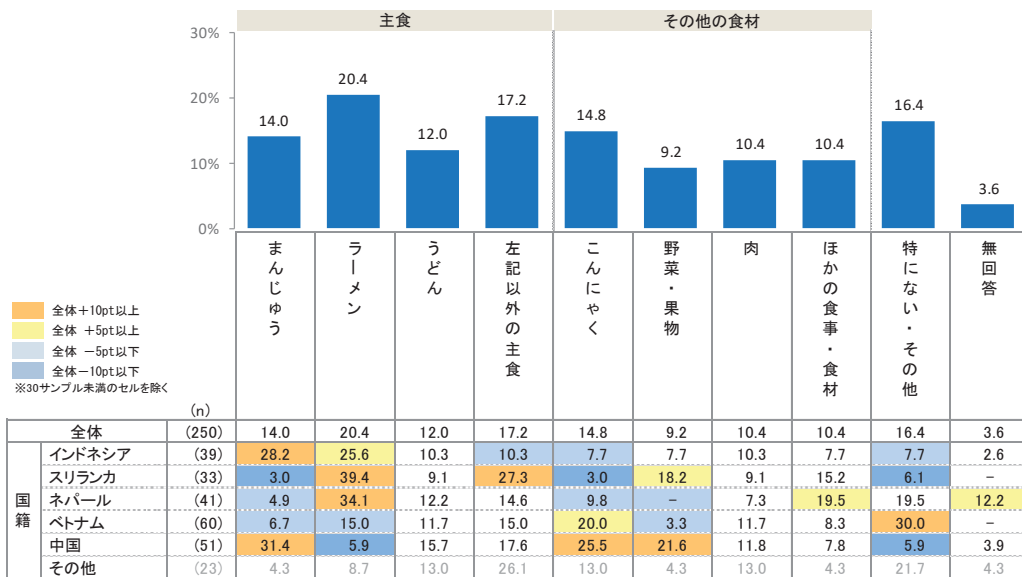
■ おすすめの群馬の食事・食材

- 全体では「ラーメン」(20%)が最多。以下、「ラーメン・うどん以外の主食」(17%)、「こんにやく」(15%)など。
- 国籍別にみると、スリランカ、ネパールでは「ラーメン」、インドネシア、中国では「まんじゅう」、ベトナムでは「こんにやく」がトップ。「野菜・果物」は中国、スリランカで比較的多くあげられている。

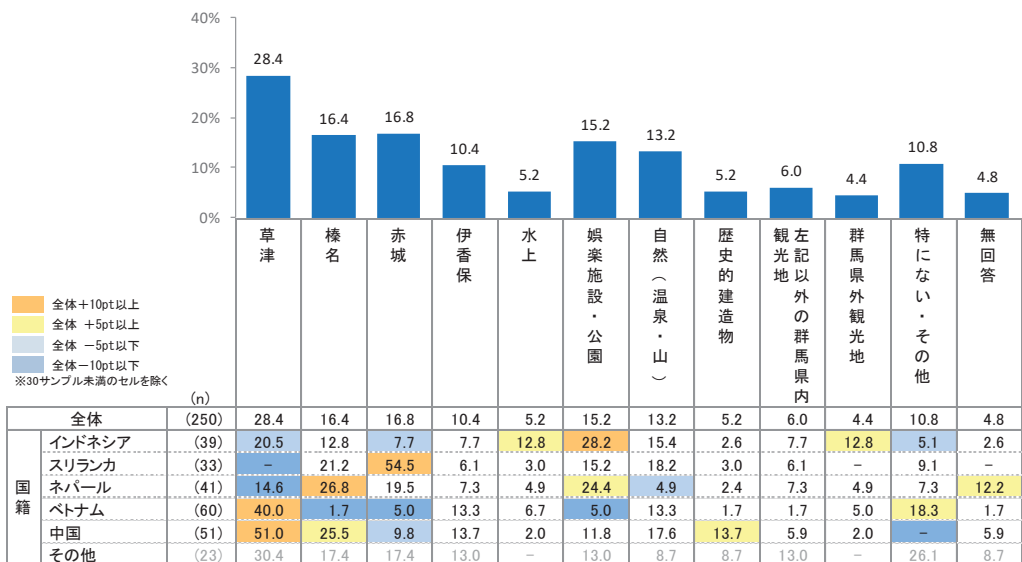
■ おすすめの群馬の観光地

- 全体では「草津」が28%でトップ。以下、「赤城」(17%)、「榛名」(16%)、「娯楽施設・公園」(15%)など。
- スリランカでは「赤城」、ベトナム、中国では「草津」が4~5割台と高い。インドネシアでは「娯楽施設・公園」、ネパールでは「榛名」が最多となっている。

Q47. おすすめの群馬の食事・食材をお答えください。(自由回答)



Q48. おすすめの群馬の観光地をお答えください。(自由回答)



※各設問ともに、30サンプル未満のセルは参考値のため文字色をグレーにしている。